

参考資料・各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	子どもにわかりやすい情報発信		備考	担当部課
				主な対象	媒体等 ホームページ、映像、他		
1 広報さっぽろ連戦ページ(子どもタウン)の掲載	市政全般	子どもの権利条約施行、アシストセンター開設を受け、広報さっぽろでも子供の悩み相談を行う誌面を展開。また、子供向けの市政情報やイベントなどを写真入りで掲載し、子供の参加を呼び掛けている。	広報さっぽろ	小中学生	特記事項(工夫など) デザインを子供向けにするとともに、すべての文字にルビをふっている。広報さっぽろのほかに誌面以上に分かりやすい表現を心掛けている。	政)広報課	
2 さっぽろ市キッズページの運営	市政全般	各局で作成している子ども向けページをまとめたリンク集、子ども向けにわかりやすい市政情報の提供や、子どもの自主的な学習の支援のために開設	ホームページ(リンク集)	小学校低学年～中学生程度	対象年齢に合わせてできるだけやさしい表現とするとともに、興味を引くようにイラストを多く使用している。掲載内容をカテゴリに分類し、情報にたどりつきやすいようにしている。	政)広報課	
3 子ども向け平和学習資料	普及啓発 授業等活用	地域に住む戦争体験者から戦争体験談を聞き、戦争を風化させないよう次世代を担う子どもたちに平和の尊さを知ってもらえる事業において、記録した体験談を平成24年までに100人の話としてまとめて冊子にし、平和学習資料とする予定。	冊子	概ね小学5年生以上を想定。	対象に合わせてできるだけやさしい表現とし使用漢字も学年に応じたものを使用する。各学校に冊子とデータを配布し、授業等で使用できるようにする予定。	市)区政課	
4 子どもまちづくり手引	市政全般 授業等活用	子どもたちに地域のまちづくり体験を通じて、参加の楽しさを知ってもらうとともに、将来の地域活動の担い手を育成するため、子どもにわかりやすいまちづくりを伝える。	冊子(名称:子どもまちづくり手引書)	小学校3～6年生	小学校での授業に活用されることを目指し、6人の教諭で構成するワーキング会議から意見を伺いながら、3～6年生の教育課程の流れに合わせた表現・内容としている。 冊子をより効果的に活用してもらうため、教員向け使用の手引きも併せて作成。また、子どもがより楽しく学習できるように、賞状、名刺、シール、市長への提言用紙等、付属ツールを充実させた。	市)市民自治推進課	
5 さっぽろのおサイフ作成	市政全般	札幌市の財政状況をより分かりやすく知ってもらおう。URLでもデータで公表中 http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo/pamph/osaifu/index.html	冊子「さっぽろのおサイフ」	小学校高学年以上～	子どもにも興味を持てるような内容となるよう努めている。	財)総務資金課	
6 さっぽろ市税のホームページ	市政全般	税を知ってもらうための取組(子ども向けのページ) http://www.city.sapporo.jp/citytax/kids/index.html	さっぽろ市税のホームページ「税ってなあに?」	概ね小学生～中学生	できるだけ平易な表現を心がけている。	財)税制課	
7 出前講座	市政全般 授業等活用	税を知ってもらうための取組(子どもを対象とした出前講座)	学校等での講演	限定していない	できるだけ平易な表現を心がけている。	財)税制課	
8 障がい者との交流体関連事業～元氣ショップ	い)案内	(元氣ショップ関連事業の案内)	チラシと、チラシをPDF化したホームページに掲載	小学3～5年生とその保護者	イラストを多用し、また、文書表現もわかりやすい表現に努めた。広く周知するために報道機関へ情報提供(記事掲載内容)に関し子どもの興味を引きそうな表現をお願い(障がい者と働こう!)	保)障がい福祉課	
9 キッズページの運営	市政全般	子どもの権利に関することなどについて、子どもに対する理解を深めるため子ども専用ページを開設	子ども専用ページを開設	子ども全般	子どもに親しみやすいページ作りや、わかりやすい説明をすることに努めた	子)子ども企画課	
10 子ども未来プラン策定に伴う子ども向けパブリックコメント	市政全般	子ども未来プランに子ども声を反映するための資料	パンフレット	小4～中3	プラン全体の中から子ども向けの内容を抜粋した内容とする。また、小学4年生が無理なく読めるような漢字を使用する。意見募集用紙を子どもが目にする機会を増やすため、市内の児童会館全館にパンフレットを配布。	子)子ども企画課	
11 中・高校生夜間利用「ふりーたいむ」ポスター・チラシ	市政全般	中学生、高校生が夜間も利用できる児童会館と曜日をわかりやすく一覧にし、児童会館の利用促進を図る。	ポスター・チラシ	中学生・高校生	夜間利用実施館をわかりやすく一覧表示し、携帯電話からも詳しい情報が確認できるようにQRコードをポスターとチラシに入れた。 夜間利用実施館の近隣にある中学校・高校へポスター掲示と全校生徒へチラシ配布を依頼。また、地下鉄駅掲示板にもポスターを掲示。 ポスター・チラシには、中・高校生たちが考えた児童会館の夜間利用の愛称「ふりーたいむ」を親しみやすい字体で掲載した。	子)子ども企画課	

参考資料・各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	子どもにわかりやすい情報発信			担当部課
			媒体種類・名称	主な対象	特記事項(工夫など)	
子ども関連行事での子どもの権利の啓発	普及啓発	ユニセフ札幌ラプウォーク(平成21年6月28日)、友遊KID Sランド(平成21年9月26日)の参加者を対象として子どもの向けのパネル展示を行う。	パネル展示	子ども全般	漢字にふりがなをつける。クイズ形式の内容にする(友遊KID Sランドでのパネル)子どもの関心を引き付けるためにゲームコーナーを併設する。	子ども権利推進課
子どもの権利条例パンフレットの配布	普及啓発 授業等活用	子どもの権利について子どもに対する理解を深める。	パンフレット	市内小学校4～6年生(小学生向け)、市内中学生向け	対象年齢に合わせた内容とし、学年に応じた漢字を使用した。21年度については、対象学年全員に配布し、2年目以降は新4年生・中学1年生に配布することとした。授業等で活用できるよう、原案段階で、教師の意見を聞くとともに、小・中各10校の協力により、子どもの意見を聴き反映した。	子ども権利推進課
子どもの権利広報紙の発行	普及啓発	地域や学校での、子どもの参加の事例を紹介する広報紙	「子ども通信」 「子どもの権利ニュース」	小学4年生以上で習った漢字にふりがなをつける。 各学校に送付してクラスでの掲示等を依頼している。 紙面で紹介する子ども自身に一部の記事を作成してもらうなど、紙面づくりに子どもが参加している。 「子どもの権利ニュース」各高校に送付してクラスでの掲示等を依頼している。		子ども権利推進課
子どもの権利教育機関のカード及びパンフレットの配布	市政全般	子どもの権利教育機関の相談方法・時間等について、子どもに周知する。	リーフレット及びカード	市内小中学校全児童生徒	子どもに好まれるようなキャラクター、わかりやすい表現、ふりがな等を用いて、子どもが読みやすいように作成した。 進学・進級時期に合わせて、学校を通じて、全児童生徒に配布した。 子どもの権利条例パンフレットと併せて、原案段階で子どもの意見を聴き反映した。	子ども権利推進課 利救済事務局
子どもの権利教育機関のポスター	市政全般	子どもの権利教育機関の相談時間等について、子どもに周知する。	ポスター	市内小中学校	子どもに好まれるようなキャラクター、わかりやすい表現、ふりがな等を用いて、子どもが読みやすいように作成した。 各学年に迂還する部数を学校に配布し、掲示を依頼した。 いじめ電話相談、24時間相談対応の児童家庭支援センターについても、併せてPRした。	子ども権利推進課 利救済事務局
子どもの輝きフェスティバルでの出張相談ブース開設	市政全般	子どもの権利教育機関が親しみやすい機関であることをPRするため、出張相談ブースを開設し、教員委員2名が相談を受けると共に、実際の相談員を起用したPRビデオを流し、広報啓発を行った。	映像	イベントに登場した子ども	子どもが親しみやすいよう、若手の相談員を起用したビデオを作成し、放映した。 子ども向けのイベントで実施した。	子ども権利推進課 利救済事務局
子どもの権利教育機関ホームページ	市政全般	相談・教務スタッフによる、子どもに関するコラムをホームページ上に掲載している。	ホームページ	概ね、小学校高学年以上の子ども	子どもがわかりやすい表現を使用している。	子ども権利推進課 利救済事務局
リユースブラザ(夏休み廃材工作教室)	イベント案内	(リユースブラザ(夏休み廃材工作教室)の案内)	チラシ・ポスター	市内小学校4～6年生(小学生向け)	対象年齢に合わせた内容とした。 広報さっぽろへの掲載、学校及び近隣の児童会館などへのポスター掲出依頼を行った。 夏休みの自由研究として活用できるように、原案段階では教師OBの意見を聞くとともに、講師としても参加してもらうことで、子どもへの指導を的確に行った。	環境ごみ減量推進課
札幌市総合的環境副教材	市政全般 授業等活用	総合的な時間や教科における環境教育を推進するために作成している。こみや雪、水などに関する総合的な環境副教材である。	冊子、札幌市総合的環境副教材	市内の全小学生	児童の発達段階に合わせて、1・2年生用、3・4年生用、5・6年生用の3種類を、教員を中心としたワーキンググループにおいて作成を行っている。 市内の全小学生(新1,3,5年生)に毎年配布 授業や教科との連携を図るため、教員を中心としたワーキンググループによる修正を行っている。	環境)環境計画課
かんきょう元気新聞	市政全般 普及啓発	札幌市で行っている様々な環境への取組や事業を、子どもたちに分かりやすく伝えるために発行している環境新聞である。(平成21年度は3回発行)	壁新聞(A3版)、「かんきょう元気新聞」	市内の全ての5・6年生のクラス	小学5～6年生に分かりやすい環境について学んでもらうため、教員や市民からなる編集委員によって作成を行っている。 5～6年生の全クラスに配布しているほか、児童会館への配布やHPの公開もを行っている。 Webアンケートによる、紙面内容の意見を受け、紙面への反映を行っている。	環境)環境計画課

参考資料：各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	主な対象	子どもにわかりやすい情報発信		特記事項(工夫など)	備考	担当部課
					媒体等 ホームページ等	映像等 動画等			
22	子どもホームページの運営	環境問題に関心、理解を深めるため子どもホームページを開設し運営を行っている。	ホームページ				札幌市環境プラザ(指定管理者)・財団法人青少年女性活動協会)で実施		環境)環境計画課
23	円山動物園だよりの発行	円山動物園の行事、動物の話題を伝え、また動物に関する理解を深める。	ちらし	市内小学生			平易な表現をこころがけ、漢字にはすべてルビをつけた。市内の小学生全員に行き渡るよう各校生徒数に応じた枚数を年4回送付		環境)経営管理課
24	若年層向け労働知識普及啓発用リーフレット	若年層向けに、労働条件に関する知識や労働意識啓発のため、リーフレットを作成。	リーフレット(未来への道案内)	市内中学生、高校生向け			若年層に目を通してもらいやすいよう、イラスト等を取り入れた。20年度は高校2年生を対象に配布し、今年度は中学2年生も対象とし、配布20年度は対象者である高校生の意見を反映させるため、インタビューを活用し、協力を得た。		経)雇用推進課
25	おもしろ情報室	農業に関する情報を提供(農業について学習できるビデオコーナーやインターネットを利用して農業に関する情報が閲覧できるパソコンコーナーなど)	図書、ビデオ、パソコン	4～5歳以上			幼児や小学校低学年でも簡単に操作でき、目で見て学習できる内容のパソコンソフトを導入している	サッポロさくらんどう指定管理者にて実施	経)農業支援センター
26	農業支援センター公開デー(野菜体験隊2009)	イベント案内	チラシ、ポスター	小学生(おもに高学年)、大人			絵や写真を活用した小学校に配布した		経)農業支援センター
27	札幌市中央卸売市場展示室	市場の仕組みへの理解を深める。	展示室	一般市民			子どもから大人まで、広い年代を対象としているが、展示内容は小学生で理解できるレベルで制作している。構内通廊車の実物の展示(乗ったり、触ったりするパノコンを使用したクイズ、構内通廊車の実物の展示(乗ったり、触ったりすることが可能)や、映像、音声を利用し、体感・体験できる展示としている。施設は子どものみを対象としたものではないが、計画段階から子どもへの情報提供を念頭に置いて検討を行った。		経)市場管理課
28	さっぽろアートステーション/スクール音楽祭(他)	さっぽろアートステーションの周知を目的として、ホームページ、パンフレット等を作成	ホームページ、パンフレット等	子どもを含めた一般を対象とする。					観)市民文化課
29	芸術の森ハレエセミナー	低年齢層への当セミナー開催の情報を浸透させ、募集に反映させるための出稿	新書館発行「クララ」(毎月10日発売)	パレエを習っている小学生					(財)札幌市芸術文化財団芸術の森事業課
30	札幌芸術の森広報誌「クララ」(毎月10日発行)	夏休みや冬休み等の芸術の森のアクティビティを提案し、利用を促進する。(札幌芸術の森で発行している「クララ」の小学生向け増刊号)	アルバム、プラス	札幌市内小学生			トピック、イラスト表現やルビなど、通常発行の紙面とは全く異なる表現で制作している。市内小学校全校生徒に配布されるように、校長会に依頼を行い、全生徒配布を可能としている。		(財)札幌市芸術文化財団芸術の森事業課
31	縦コンサート(展覧会事業)札幌第二中学の絆(展の附帯事業)	(絆コンサートの案内)	当館及び同校ホームページ、新聞折込チラシ	生徒及び学校関係者、近隣住民			優待策として、生徒手帳提示、父兄等学校関係者は申告により無料招待を実施。		(財)札幌市芸術文化財団札幌彫刻美術館
32	自然探究サポート事業	(自然探究サポート事業の案内)	チラシ、HP、広報	小中学生			これまでの活動内容やスケジュールを分かりやすく提示		観)市民文化課
33	自然科学 絵本読み聞かせ&学芸員の井戸端サイエンス	(自然科学 絵本読み聞かせ&学芸員の井戸端サイエンスの案内)	ちらし、広報、HP	幼児(3歳)から大人まで			分かりやすい表現で提示		観)市民文化課

参考資料：各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	主な対象	子どもにわかりやすい情報発信		備考	担当部課
					情報発信	媒体等		
34 昆虫採集会	イベント案内	(昆虫採集会の案内)	広報、HP			特記事項(工夫など) これまでの活動内容やスケジュールを分かりやすく提示		観)市民文化課
35 さっぽろ子どもチャレンジ オートタムスボーツピン ゴ!!!他	イベント案内	(さっぽろ子どもチャレンジ オートタムスボーツピンゴ!!!の案内)	子ども向けのホームページ及びパンフレットを作成			配布物は、小学生に合わせてできるだけやさしい表現とし、使用漢字にはふりがなをつけた。		観)企画事業課
36 下水道科学館フェスタ	イベント案内	(下水道科学館フェスタの案内)	チラシ、ポスター	小学生や家族連れ		小学生にも理解できるようにやさしい表現を心がけ、漢字には振り仮名を付けた 市内の各小学校に生徒人数分のチラシを配布した		建)企画課
37 さっぽろ 雪の絵本	市政全般	札幌市の雪対策事業について、多くの市民に理解を深めてもらうため作成した絵本	「さっぽろ雪の絵本」	全市民		情報をわかりやすく伝えるため、イラストやグラフを多く使用。 各公共施設や地域懇談会での配布や、小・中学校へ直接配布するなどした。		建)計画課
38 まんが さっぽろ 雪の絵本	市政全般	「さっぽろ 雪の絵本」をより広い年代の方(小学生、高齢者)でもわかりやすいか、イラストを多く使用して作成した絵本。	「まんが さっぽろ雪の絵本」	小学生、高齢者など幅広い年代の市民		「さっぽろ 雪の絵本」をより広い年代の方(小学生、高齢者)でもわかりやすいよう、イラストを多く使用して作成した絵本。 各公共施設や地域懇談会での配布や、小・中学校へ直接配布するなどした。		建)計画課
39 雪対策室HP(子ども向けページ)	市政全般	雪対策事業に対する子ども達の理解を深めるための子ども専用ページ公開	ホームページ「わたしたちのくらしと雪」	小学生・中学生		難しい漢字にはふりがなを記載		建)計画課
40 環境副教材	市政全般 授業等活用	冊子の中で、本市の雪対策事業について紹介し、子どもたちの理解を深めてもらう。	「札幌市総合的環境副教材」	小学生		市内の小中学校に配布		建)計画課
41 北海道雪プロジェクトの連携	市政全般 授業等活用	子どもたちが自主的に学び、学校の授業等でも使用できるよう、HPや冊子を作成している。(札幌市は情報提供、実際の作成作業は北海道雪プロジェクト事務局)	北海道雪たんけん館(HPI)、雪の学習プログラム集(冊子)	小学生				建)計画課
42 環境広場さっぽろ2009	市政全般	札幌市の公共建築における環境問題への取組等を紹介する。(標記事業に都市局建築部として参加)	パンフレット	小学生向け		簡潔でわかりやすい文章を心がけ、漢字にふりがなを付け低年齢でも読めるようにした。また、写真やイラストを多用し、興味をひくよう工夫に努めた。		都)建築企画課
43 水道局キッズページの設置	市政全般	水道事業について子どもに対する理解を深めるため子ども専用ページを開設	ホームページ	概ね小学校3年生以上を想定		できるだけわかりやすい表現とし使用漢字も学年に応じたものを使用した。楽しみながら閲覧できるようアニメーションを用いて作成した。		水)総務課
44 キッズページの設置	市政全般	消防の仕事や火災予防などについて、子どもに分かりやすい資料やペーパークラフト等を集めた子ども専用ページを開設した。	同左	概ね小学校4年生以上		対象年齢に合わせた漢字を使用し、イラストなどを使用した親しみやすい内容としている。		消)総務課
45 消防のしごと	市政全般 授業等活用	火災予防と消防に関する知識を深める。	冊子(24,000部)	小学校4年生児童、特別支援学校、小学部全児童、少年消防クラブ員。		写真、イラストを多用し、内容を伝わりやすくしている。また、全ての漢字にふりがなを付けている。 「教えて!ファイヤーマン」事業実施の補助教材、事前学習教材となるよう、4月中に配布している。		消)予防課
46 インドア雪合戦大会	イベント案内	開催の周知のためのポスターと参加者申込のためのチラシを作成	ポスターA3、チラシA4(両面)	小学生		漢字にはふりがなをつけた 学校、児童会館を主な配布先とした		中)地域振興課

参考資料：各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	子どもにわかりやすい情報発信			備考	担当部課
				主な対象	媒体等 ホームページ 映像 他	特記事項(工夫など)		
子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業	普及啓発	地域安全マップづくり事業の理解を深めるため、説明会等で使用する資料	冊子「地域安全マップ制作マニュアル」DVD「子ども地域安全マップづくり」	参加する小学生及び地域住民のサポーター、学校関係者。		参加者である小学生及び地域住民に対して、わかりやすい言葉とDVDを含めた映像を用いて説明している。地域住民の事前説明会及び、事前学習等に提供。	北)総務企画課	
子どもホームページ「きたーくのぞ」	市政全般	ホームページを通してわかりやすく地域のことを学ぶ場を提供、学校での授業や児童会館の行事としての利用など。	区内の小中学生(4年生程度)。	小学校などにチラシやポスターの掲示、配布を依頼。		親しみを持ち、楽しみながら学べるようゲーム形式としたほか、モニター調査を行って子どもたちの意見を反映させた。授業での利用状況など、アンケートを実施。	北)総務企画課	
東区子どもボランティア体験塾	イベント案内 普及啓発	ひがし、雪まつりウェルカム協議会のボランティア活動体験の案内チラシ、報告書等	チラシ、案内文、報告書	小6までの20人		案内文、報告書について、保護者用と参加者用の2種類を作成。参加者用は対象年齢に合わせた表現を用い、学年に応じた漢字を使用する。	東)地域振興課	
中学生のまちづくり入門講座(意見交換会)	普及啓発	子どもたちに、まちづくり活動のおもしろさを知ってもらったり、また関心を持ってもらうための講座	まちづくり入門講座(意見交換会)	札幌中学校生徒会役員		子どもたちに、まちづくり活動のおもしろさを知ってもらったり、また関心を持ってもらうために、まちづくりセンター所長が講師となり、中学生がまちづくり入門の基礎知識を学んだり、動機づけをする機会を設定した。	東)伏古本町まちづくりセンター	
白石区子ども向けホームページ制作事業	市政全般	将来の市民自治の担い手である子どもたちに、自ら知り、学ぶ機会を提供するため作成した、子ども向けホームページについて、より効果的に活用されることを目指して、掲載内容の拡充を図る。	子ども向けホームページ	小学4年生以上		閲覧対象を小学4年生以上と設定し、漢字や表現方法を分かりやすいものとする。北海道情報専門学校に協力を依頼し、市政等を学ぶゲームコンテンツを開発する。	白)総務企画課	
まちづくり子ども探偵団	イベント案内	(まちづくり子ども探偵団募集チラシ)	学校配布チラシ	区内の小学生		絵柄をチラシに加え、参加の興味を持たせた。対象年齢に合わせてできるだけやさしい表現とした。事業の周知だけに陥りがちのチラシに親御さんあての個別案内を裏面に載せた。	白)地域振興課	
白石を探そう！スタンラリー	イベント案内	(白石を探そう！スタンラリーの案内)	チラシ及びポスター	区内の小中学生		多くの参加者を得るため、対象者の興味を引き且つわかりやすい情報提供に努めた。区のマスコミキャラクターのイラストを使用し、楽しい雰囲気が出るよう工夫した。	白)地域振興課	
まちづくりジュニアセミナー	イベント案内	(まちづくりジュニアセミナー案内チラシ)	チラシ	区内の中学1,2年生30名		事業の周知だけに陥りがちのチラシに親御さんあての個別案内を裏面に載せた。	白)地域振興課	
自然とのふれあい事業(月寒川にぎわい川まつり)	イベント案内	(自然とのふれあい事業(月寒川にぎわい川まつり)の案内)	チラシ及びポスター	区内の小学生		多くの参加者を得るため、対象者の興味を引き且つわかりやすい情報提供に努めた。イラストや写真を使用し、楽しい雰囲気が伝わるよう工夫した。	白)地域振興課	
子どもワンダーランド	イベント案内	(子どもワンダーランドの案内)	学校配布チラシ	区内の小学生		対象年齢に合わせてできるだけやさしい表現とした。	白)地域振興課	
白石区青少年武道大会	イベント案内	(白石区青少年武道大会の案内)	ポスター	区内の小中学校及び道場		多くの参加者を得るため、対象者の興味を引き且つわかりやすい情報提供に努めた。難解な表現を避けて、わかりやすい表現になるよう工夫した。	白)地域振興課	
子ども向け歴史資料集「あつべつワールド」制作	市政全般 授業等活用	厚別区の歴史をわかりやすく伝える	「あつべつワールド」	子どもから大人まで幅広く対象とする		興味を持って読んでもらえるように、イラストや写真を多用し、文章も平易な表現にしている。小学5年生までに習う学習漢字以外にルビもふっている。各学校の図書室に置いてもらったり、厚別区役所ホームページでも閲覧できるようにしている。作成段階に子どもが関わりたいアイデアを冊子に生かした。	厚)総務企画課	

参考資料：各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	主な対象	子どもにわかりやすい情報発信		備考	担当部課
					媒体等 ハ ン ド ウ ツ 等 他	特記事項(工夫など)		
59 広報さっぽろ厚別区版 の高校生記者	市政全般	厚別東地区のみところを紹介	「広報さっぽろ12月号」厚別区のページ	厚別区全世帯		特記事項(工夫など) 高校新聞局での表現を使用 作成段階に子どもが関わった		厚)総務企画課
60 平和事業 戦争体験 の聞き取り	普及啓発	戦時中の体験を記録するとともに、次世代を担う子どもたちに平和について考える機会を設ける	厚別区平和事業	厚別区内の小中学生		話の前に戦時中の映像を流した。 戦時中の写真や資料をもとに話してもらった。		厚)総務企画課
61 ふれあい絵画展(厚別 区誕生20周年記念事 業)	イベント案内	(ふれあい絵画展の案内)	チラシ	区内小学生 (3年生以上) 327人		子供に参加(応募)を促すような言葉遣いで、チラシを作成		厚)地域振興課
62 地域連携事業「げんき 夏まつり」	イベント案内	(地域連携事業「げんき夏まつり」のボランティア募集チラシ)	ボランティア募集の周知(チラシ)	区内中学生、高校生		ボランティア募集ポスター・チラシ(事業説明など)は分かりやすい内容にした。 周知方法は学校の判断とした。生徒会や全校生徒に向けて掲示板などで周知。		豊)健康・子ども課
63 子ども版清田区まちづ くりビジョン2020	市政全般 授業等活 用	「まちづくりビジョン2020」の子どもへの普及促進	冊子版、HP版、HP'きよつちと清田区たんけん！」	区内小学校3年生～6年生		簡易な文章、難しい漢字にふりがなをつける等を工夫。 制作にあたっては、区内小学校教諭による編集会議により内容を決定。まちづくりの他、清田区の自然や歴史を盛り込み、総合学習以外の教科でも利用できるよう編集。		清)地域振興課
64 こども西区民会議 事業	普及啓発	環境活動への参加促進及び郷土愛の醸成を図るため、西区の自然やエコスポット(環境にやさしい場所・活動)を紹介するかるたを制作	かるた、「さんかくやまやまやま」	小学生		読み札、絵札ともに、子どもたちが自ら考え描くことで、子どもの言葉でわかりやすい表現とした。 提供方法等の工夫 環境というと、とが難しく考えがちなため、あそびながら学べ、分かりやすい情報提供として、かるたを考えさせた。 読み札、絵札ともに、子どもたちが自ら考え描き、作成段階に子どもが関わった。		西)地域振興課
65 琴似発寒川稚魚放流 事業	市政全般 授業等活 用	区内すべての連合町内会が一丸となって取り組んできた本事業を、西区の財産として後世に引き継ぎ、次代の子供たちへ繋げたいことを目的に、20周年記念誌を作成。	冊子、琴似発寒川稚魚放流事業20周年記念誌	子どもから大人まで		冊子中、事業の歩み、琴似発寒川の歴史、やまめの生態など小学校の授業でも使えるように作成 区内の小学校へ配布 子ども絵画作品展用に描いてもらった絵を表紙などに使用。		西)地域振興課
66 地域連携事業 「サマーカーニバル」 「ウィンターカーニバル」	イベント案内	(地域連携事業「サマーカーニバル」「ウィンターカーニバル」の案内)	ポスター・チラシ	高校生、専門高校生 (ボランティア)、幼児、小学生		分かりやすく、子どもも興味を示すようなデザインにしている。		西)健康・子ども課
67 育児体験支援 「赤ちゃんとお遊ぼう」	イベント案内	乳幼児と関わったことがない生徒が多いため、子どもと関わるときの基本的な心構え・安全面について、赤ちゃんの抱き方などの資料を作成した。	同左	高校生		対象年齢に合わせ、興味を引くようなカットをいれるなどしてできるだけ分かりやすい表現となるよう工夫した。		西)健康・子ども課
68 小学生の夢10年後 の手紙のまち事業	イベント案内	自分の住んでいるまちをもっとよく知ることができようというイベント・お祭り情報のちらしを作成し、学校を通じて全児童に配付	イベント・お祭り情報のちらし	全児童		学校を通じて全児童に配付		手)地域振興課

参考資料・各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	主な対象	子どもにわかりやすい情報発信		備考	担当部課
					特記事項(工夫など)	媒体等		
子どものまちづくりへの参加促進事業(手稲タンケツツアー、子どもたちが手稲のまちの夢を語り合う意見交換会(ワークショップ))	イベント案内 市政全般	(1)10年後の手稲のまち、事業への参加に向け、同事業参加の動機付けのための情報発信 10年後の手稲のまちの絵を描くにあたっての動機付けとして、様々な主体がそれぞれで行っている子ども向け事業を一元化して情報発信している。 (2)タンケツツアー案内状 10年後の手稲のまち事業アイデア作品受賞者への、タンケツツアーの案内 (3)ツアーのポイントでのオリジナル紙芝居 手稲弘山を通じた手稲の歴史について、気づいてほしい内容を伝える。 (4)ツアーの模様を伝える壁新聞 ツアー参加者以外の市民にツアーの内容を伝える。	作品募集案内文添付チラシ アイデア作品賞のお知らせの添付案内状 オリジナル紙芝居 壁新聞 フォトマウント作成	小学校4年生 10年後の手稲のまちアイデア作品受賞者 タンケツツアー参加親子 子どもを含めた一般区民	特記事項(工夫など) 絵を描くにあたって、「まちを見てみよう」「まちを考えよう」という動機付け作品提出後にはアイデア作品に選ばれたと「タンケツツアー」に招待されるというプロセスをすこく「状」に記載 小学校を通じて配布 タンケツツアーは行き先を知らせないミニツアー形式で行うことから、参加の動機付けとして、手稲の歴史にまつわる人物からの案内状という形式で、ツアーを通じて気づいてほしいという表現をしている。 アイデア作品受賞者へ直接送付 今年度は手稲弘山ポイントで、紙山を通じた手稲の歴史について学んでもらうため、企画協力団体とともに素材を準備、オリジナル紙芝居を作成 提供方法等の工夫、ツアーの行程の一つとして実施 児童が作成することによる子ども目線での誌面づくり(子どもでも編集しやすいよう、あらかじめ壁新聞フォトマウントを作成) 道内垂降2位の手稲駅の自由通路「あいくる」でのパネル展示 前年度参加児童が「センパイ隊員」としてツアーに同行取材し、ワークショップの時間を基本に子どもが中心となって編集	手)地域振興課		
野菜摂取強化月間パネル展	普及啓発	野菜摂取の必要性を啓発し、バランスの良い食生活の実践を促進させることを目的に実施。	野菜に関するパネル、ポスター、配布資料	区民全般		住民に対し、より有効な情報発信をするため、街頭啓発を行い、住民に直接パネルの説明やリーフレットの配布等を行った。また、子どもも楽しめるよう、イラストや写真でわかりやすいパネルを作成し、クイズ等の展示も行った。	手)健康・子ども課	
食育パネル展	普及啓発	食育の必要性を啓発し、豊かな食生活の実践を促進させることを目的に実施。	食育に関するパネル、ポスター、配布資料	区民全般		住民に対し、より有効な情報発信をするため、住民参加型の街頭啓発を行い、パネル説明やリーフレットの配布等を行う。また、子どもも楽しめるよう、イラストや写真でわかりやすいパネル展示とす。	手)健康・子ども課	
(地域連携事業)手稲わいわい広場	イベント案内	乳幼児親子や地域の人々と遊びを通して交流したり、事業の準備活動を行う中で、お互いを身近に感じられるようにする。	ボランティア募集及び事業開催PRチラシ、ポスター	小学校から高校生を想定		ボランティア募集チラシ・ポスターは、かみくだいたわたりやすい表現とした。事業開催PRチラシ・ポスター作成は、稲穂児童会館児童クラブの子ども達が行う。	手)健康・子ども課	
(次世代育成支援)赤ちゃんってすごい！事業	普及啓発 授業等活用	事業目的が達成できるよう、対象年代に合わせた手法で実施	ポップ、写真、パワーポイント等	小学生から高校生を想定		対象年代に合わせた手法で授業を行うとともに、児童・生徒の反応や、質問、意見交換等を柔軟に取り入れながら進める。 授業は、児童・生徒の反応や感想、また、事業に参加した保護者の意見等を参考に進める。	手)健康・子ども課	
子どもの学びガイド	イベント案内	学校休業日における子どもの居場所の情報提供を充実させるため	チラシ	全市立小学校児童へ配布(夏休み、冬休みの2回)			教)生涯学習推進課	
「さっぽろっこ家庭読書の日」啓発リーフレットの配付	普及啓発	さっぽろっこ家庭読書の日について啓発を図るとともに子どもたちの読書への興味を高める	リーフレット	市内幼稚園・小学校に通う保護者向け		保護者向けではあるが、小学校高学年以上であれば自分で読んで理解できる内容とした。 幼稚園、学校を通じて保護者へ配付した。 家庭読書の日についての啓発とともに、発達段階に応じた「おすすめの本」を掲載した。	教)指導担当	
「札幌市・平和こどもをつついの」開催	普及啓発	「札幌市・平和宣言」に基づき、核兵器の廃絶と世界平和の実現について、市民に考える機会を提供するための様々な取り組みの普及啓発	ホームページ	市民、児童生徒		発表のテーマなどの詳細な記や、当日の様子がイメージできるような写真などを掲載し、子どもにも理解しやすい内容にすることで、次回への参加の意欲付けとした。	教)指導担当	
「いじめに関する意識調査」	普及啓発	本調査及び結果等を広く市民に公表することで、いじめ問題への関心を高め、学校・家庭・地域が一体となっていくいじめ問題の対応ができるようにした	ホームページ	市内園、学校及び児童生徒、保護者、地域		分かりやすい表現にすることで、子ども自身がいじめの状況に関心を寄せる一助とした。	教)指導担当	

参考資料：各同区における事例(子どもに対する情報発信の事例)

事業名	情報の種類等	趣旨・目的・内容	媒体種類・名称	主な対象	子どもにわかりやすい情報発信		備考	担当部課
					特記事項(工夫など)	媒体等 ホームページ 画像 その他		
78 中央図書館キッズページの運営	市政全般	図書館の利用の仕方などについて、子どもの理解を深めるため、子ども専用ページを開設	子ども専用ページ	概ね小学校低学年以上		対象年齢にあわせて、できるだけやさしい表現とし、使用漢字も学年に応じたものとした。		教)調整担当課
79 「とじょかんだよりの発行	市政全般	主に児童を対象とした展示や行事等のお知らせを中心に、担当の職員が印刷をした「とじょかんだよりの」により、情報発信をしている。	とじょかんだよりの	小学生～高校生		小学生低学年にも読めるように、漢字にはよみがなをふってある。館内に置くだけでなく、各小学校に配布している。		教)業務課
80 「選挙ってなんだろう？」	普及啓発 授業等活用	選挙の大切さを授業の中で学ぶ	公民用資料 (パンフレット)	中学3年生		内容、表現、使用漢字等を対象年齢にあわせたものとした。毎年の授業実施時期に合わせて、学校に配布している。授業で活用しやすい内容等とするため、中学校教諭が編集委員となり作成した。		選)選挙課
81 市議会のはなし(下敷き)	市政全般	議会について理解を深めるため	下敷き	小学生		できるだけやさしい表現とし、漢字にはフリガナをつけている。議場見学の際に配布している。		議)政策調査課
82 キッズページの運営	市政全般	市議会について子どもに対する理解を深めるため子ども専用ページを開設	子ども専用ページを開設	概ね小学校高学年から中学生程度		対象年齢に合わせてできるだけやさしい表現とし使用漢字も学年に応じたものを使用した。若手職員からなる「子ども向けホームページ検討委員会」を設置し、掲載内容及び構成並びに表現方法等について検討した。		議)政策調査課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 準備・当日手伝い 参加者・発案者 参加者による認 参加者による認 アンケート等 意見募集・意見箱 その他	市政への意見 その他	取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 ①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 ②主な対象及び参加人数 ③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他	子ども参加の内容		備考	担当部・課
					特記事項	特記事項		
1	子ども広報モニター	○		広報さっぽろの誌面づくり(子供の意見を記入したため、2か月に一度、誌面の内容・デザインなどについてアンケート調査を実施。また、年に1回、意見交換を行うモニター会議)を実施。	小4年～高校生10人	③広報さっぽろで広く周知を図っている ④「モニター会議」の実施日は、参加のしやすい夏休み期間中に設定 ⑤アンケート送付時に、前回のアンケート結果の概要を同封		政)広報課
2	札幌・ポータランド姉妹都市提携50周年記念小学生絵画展	○		子どもたちに姉妹都市に関心をもってもらい国際交流の裾野を広げることを目的に、自分たちの街や生活の様子を紹介した絵画展を実施。21年6月の札幌市訪問団ポータランド訪問時に併せ、6月5日から8日間、向市中心部のショッピングモール内で展示。なお、同年11月には、ポータランドの子供たちの絵画を地下街オロラスクエアで展示した。	20年度時点で小学校4年生及び5年生を対象。8校29児童が作品を提供	③冬休み時期に併せ、教育委員会を通じて市内全小に案内した。 ④ポータランドと協力して実施。両市の相互訪問時に併せて実施することにより、市民への関心を高める相乗効果を図った。また、絵画に加え、ポータランド市民に伝えたいメッセージも併せて募集した。両市長官、両姉妹都市協会長官の特別賞を設けたほか、参加者全員にポータランドからの感謝状やポータランドにちなんだグッズを贈呈した。 ⑤特別賞受賞者の表彰式を11月のポータランド訪問団来札幌時の交流レセプションにおいて実施した。		
3	札幌・ポータランド姉妹都市提携50周年交流レセプションにおける札幌ジュニアジャズスケールによる演奏	○		姉妹都市に関心をもってもらい国際交流の裾野を広げることを目的に、札幌ジュニアジャズスケールに、11月3日に市役所ロビーにて実施した交流レセプションのアトラクション演奏を依頼した。	中学生7人による演奏。来場者は約300人	④演奏後は、交流レセプションに参加してもらった。		総)交流課
4	「札幌の歴史探検」～歴史新聞をつくらう	○	○	毎回設定したテーマについて札幌の歴史を学び、歴史新聞を作成し、作品展とホームページ上で発表する。札幌の歴史に対して興味を持ってもらうことで、施設PR、利用促進につなげる。5、7、9、10、12、2月間の6回開催。	郷土史の学習が始まる小4年生～中学生	③ホームページに掲載するほか、全市小学校全員に対してチラシを配布(教 生涯学習推進課の事業と合同のもの) ④長期休暇・学校行事などが集中する時期を選けるよう日程を調整。歴史に親しむことが第一の目的なので、資料はわかりやすくまとめ、作成に必要な写真等の画像資料も多めに提供して目録を添付した。また、新聞作成に関しても自由にやり取りできるようにしている。作品展などで発表の場を設けたり、全6回参加者を表彰することで意欲向上に繋がるよう工夫している。		総)文化資料室
5	平和へのメッセージ募集事業	○		小中学生に世界や身近な社会の平和について考えてもらうことで平和意識の向上を図るため、イラストやメッセージを募集する。応募期間は5月中旬から6月中旬までの1ヶ月間。	参加者：全市小学5、6年生と中学生。	③市内全小中学校に募集チラシを配布した。 ④世界平和、身近な平和など範囲を決めず自由で考えて作成してもらおう。 ⑤募集された作品の中から優秀賞を選考し、選考された小中学生は8月に札幌市平和訪問団として被災地に派遣する。入選作品については原簿、展覧等平和イベントで掲示。また、応募のとき希望者は音楽家が詩に歌をつけてCD化するイマジン音楽祭にも参加できる。		市)区政課
6	まちづくりセンタースタンプラリー	○		子どものまちづくり参加のきっかけとするとともに、まちづくりセンターのPRを図るため、平成21年7月27日～8月18日の期間中、まちづくりセンター2か所をめぐるとともに、スタンプラリーを実施。	主な対象者は小学校4～6年生、参加者180人	③学校の協力を得て、参加用紙の配布、ポスターの掲示を行うとともに、子どもの参加意欲喚起のため、スタンプラリー終了後に抽選で景品を贈呈することとした。 ④子どもが参加しやすいよう開催時期を小学校の夏休み期間中に設定した。また、楽しくスタンプラリーをめぐるとともに、札幌のまちについて学習できるよう、まちづくりセンターには、札幌に関するクイズを設置した。さらに、スタンプラリー終了時に、まちづくりセンターの概要について学ぶことができるよう、子ども向けのリーフレットを参加者全員に配布した。		市)市民自治推進課
7	「中学生の税について」の作文募集事業	○		少年少女層に対し正しい税知識の浸透と普及を図り、税に関する理解者・協力者を醸成する目的で、中学生に対して税についての作文を募集する。	札幌市内の中学生(H21年度は4,017人の応募)	③市内の各中学校に対して募集要領・ポスターを送付し、協力を依頼している。 ④各中学校における夏休みの宿題等に活用できるように6～7月に募集を依頼し、8月末を締切としている。 ⑤札幌市納税貯蓄組合連合会が札幌五地区納税貯蓄組合連合会協議会と共同で制作している作文募集(優秀作品掲載)に応募者及び学校に配布する。 ⑥上位5作品を札幌市長賞として表彰。	札幌市納税貯蓄組合連合会と共催	財)納税指導課
8	小学生の描く「にやさい」福祉のまちづくりポスター」作品展(福まちウィーク事業)	○		児童の福祉に対する意識の啓蒙を図るとともに、作品展を開催することにより、多くの市民に地域福祉活動への理解と促進を図る。作品展は、地下街オロラスクエアにて9/13～9/19の期間開催した。	対象：市内の小中学校に通学している小4～小6、応募作品：163点、入賞作品：40点	③学校の協力を得て各校にチラシの配布、ポスターの掲示を行った。 ④入賞者への表彰式を日曜日に開催した。入賞作品については、地下街オロラスクエアにて作品展を開催した。 ⑤審査会、入賞作品、表彰式及び作品展の模様を札幌市社会福祉協議会(事業受託者)のホームページに掲載している。		保)総務課
9	親子で参加！福祉体験教室			児童の福祉に対する意識の啓蒙を図るとともに、ボランティア活動に関心をもってもらい、福祉のまちづくりを行う。実施日：7/29、場所：札幌市ボランティア研修センター、実施内容：障がいのある生活に関する講話、車椅子体験等	対象：市内の小中学校に通学している小4～小6とその親、30組、参加人数：6組12人	③募集にあたっては、学校の協力を得て各校にチラシを配布した。		保)総務課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 準備・当日手伝い 参加者・発案者 参加者による認識	市政への意見 アンケート等 意見募集・意見箱 その他		子ども参加の内容			備考	担当部・課
			①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	②主な対象及び参加人数	特記事項	特記事項			
10	障がい者との交流 体験企画～元氣 ショップ関連事業～	○			(主な対象) A、Bは 小学3～5年生、Cは 小学3～5年生とそ の保護者を対象 (参加人数) 21年夏 名 C10組、平成22 年冬開催:A4名、C5 組	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他		障がい 福祉課	
11	ジュニア食品安全 委員会@アット) さっぽろ	○			・目的:食の安全性に関する意見交換会(リスクコミュニ ケーション)のひとこととして、子どもたちが、専門家との意 見交換などを通して、食の安全性の確保について興味を 持ち、冷静に判断する目を養う契機とするともに、子ど もと一緒に参加する保護者にも、家庭での食に関するコ ミュニケーションを促し、食の安全性の確保を家庭レベル から取り組む環境づくりを進めること等を目的として内閣 府食品安全委員会及び北海道と連携により開催。 ・参加の内容:ジュニア委員任命式、レクチャー及びクイ ズ、意見交換 ・実施日:平成21年8月3日(月) 14:00～15:30 ・場所:道庁赤レンガ庁舎 2階1号会議室(札幌市中央 区北3条西6丁目)	③北海道から教育委員会及び食品関係団体等を通じて参加者の募集の周知等を依頼した。 ④開催時期:小学校の夏期休業期間中の開催とした。 ⑤イベント終了後、参加者にアンケートを実施		保)食の安 全推進課	
12	実験教室	○			(対象)衛生研究所近 隣の3小学校5、6年 生(参加者)H203コー ス36名、H215コー ス28名 児童館を利用する 小1～小3:693人、 小4～小6:589人、 中1～高3:768人、 計2,050人が回答。 小4～中3(ただし、 それ以外の学年の 子どもが意見を提出 することも可能)	③学校の協力を得て、チラシの配付及び担任の先生からのPRを依頼 ④参加のしやすい小学校の長期休みに合わせて開催(H20:冬休み、H21:夏休み)した。 ⑤参加者に対するアンケートを実施した(H20)。学校を通じて参加者に対し記録写真を送付した (H21)		保)生活科 学課	
13	子ども未来プラン策 定に伴う子どもの 意見反映	○			子ども未来プラン策 定段階において子ども の声を反映する ためアンケートを実施した。(7月)	③小学校低学年、小学校高学年、中・高校生の3種類のアンケート用紙を作成し、成長発達段 階に応じた内容とした。		子)子ども 企画課	
14	子ども未来プラン策 定に伴う子ども向 けパブリックコメント	○	○		子ども未来プランに 子どもが声を反映する ため	④子ども向けの意見募集用紙を作成。また、子どもが意見を出しやすいよう、子どもに特にかか わりの深いテーマに絞った。		子)子ども 企画課	
15	ミニシティ2009	○	○		体験型お店屋さんごっこを企画・実施するため、自分た ちの地域を調べることで、地域を知り、地域の一人として 社会参加をすすめるきっかけとなり、また、各館の子ども連立 委員のメンバーと交流することで、情報交換等を通じ 相乗効果を図ることを目的に実施(2009年9月12日(土) 9:30～16:00 零似商店街)	③一般参加者については各児童館近隣の小学校にチラシの配布。子ども運営委員については 各館にて随時募集。 ④実際に子どもたちが店のイメージをつかむため、事前に商店街へ出かけ取材をした。当日は も連に困ったことがあった場合、気軽に聞けるよう、商店街のいたるところに道案内のポス トカードの準備期間を考慮し9月とした。 ⑤実施後は子ども運営委員会参加児童へのアンケート調査を行った。各館では反省会(振り返 り)を行い今後の活動につなげる。		子)子ども 企画課	
16	中高生フェスティバ ル	○	○		中・高校生の児童館利用促進、並びに居場所作りから 主体的活動への展開を目的として実施。(2009年9月6日 (日)8:45～17:00 やまびこ館・東区体育館)中・高校生 の企画・運営によるステージ発表や3on3バスケットボー ル大会など	③中学校等へのチラシ配布や各児童館を通じて利用者への声かけで募集。 ④中・高校生ボランティアが企画運営。児童館で活動している中・高校生の募集の場にする 共に、スベンヤルゲストによるライブを実施し、中・高校生に啓蒙した(ゲストライブのみ事前に入 場整理券を配布)。開催時期は企画・準備する上で必要な日数を加味して9月とし、会場も中・高 校生の利便性を考慮した。 ⑤中・高校生ボランティア、中・高校生の一般参加者からアンケート調査を実施し、今後の中・高 校生の利用促進計画等に活用する。		子)子ども 企画課	

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加			市政への意見			子ども参加の内容		備考	担当部・課
		企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発案者	参加者による評価	アンケート等	意見募集・意見箱	ワークショップ等	その他		
								①取組の趣旨・目的・参加の内容、実施日・期間・場所等	②主な対象及び参加人数	特記事項	
17	シンガポール少年少女交流事業	○	○	○				国際的視野の広い青少年を育成することを目的に、昭和63年度からシンガポールと本市の相互交流を実施している。派遣は隔年で行い、派遣年度の翌年度にシンガポール共和国の少年少女を受け入れている。	市内在住の中学生2年生 14名	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他	子ども権利推進課
18	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	○	○	○				本市の青少年の健全育成を推進するため、子ども自身が「やりたいこと・やってみようこと」を考へ、その活動に必要な調査や準備などを行い、お互いに相談・協力しながら、手作り型にはまらない体験活動として、子どもの意見を主体とした事業として実施している。	市内在住の小学生225名が参加	③募集に当たっては学校の協力を得て、チラシ掲示を行っている。 ④派遣・受入にあたり、事前・事後研修を実施し、プログラムの策定等に参加する子どもたちの意見を尊重することで、意見・表明の機会を保障している。また、事業終了時に活動報告会を実施しているほか、2年間の活動を紹介する報告書も作成している。 ⑤終了後に参加した子ども及び保護者を対象としたアンケートを実施し翌年度の参考としている。	子ども権利推進課
19	こどものまち「ミニさっぽろ」事業	○	○	○				市民体験を通して、働くことの意義や苦勞・面白さを学ぶとともに、自立性や社会性を育む機会とすることを目的に実施している。平成21年度は10月3日・4日に、アウセスサッポロにて開催。	市内在住の小学3・4年生 2,945人が参加	③募集に当たっては各学校を通してチラシを配付。できるだけ多くの児童が体験できるように一日の参加とし、事前申込み制とした。 ④ブース内は子ども自身の自主性を重むため、保護者の立ち入り原則禁止とした。 ⑤イベント時に参加した子ども及び保護者を対象としたアンケートを実施し翌年度の参考としている。	子ども権利推進課
20	子ども議会			○				市民体験を通して、働くことの意義や苦勞・面白さを学ぶとともに、自立性や社会性を育む機会とすることを目的に実施している。平成21年度は10月3日・4日に、アウセスサッポロにて開催。	小5～高校生まで41人	③募集に当たっては学校の協力を得て、チラシ配布・掲示を行っている。 ④委員会は主に土曜日の開催、本会議は冬季休業期間中に開催 ・委員会は子ども主体の運営とし、それをサポートするために大学生のサポーターに協力をお願いしている。 ・活動を紹介する「子ども議会通信」は一部、子どもが記事を作成 ⑤子ども議会終了後は、アンケートを実施し翌年度の運営の参考としている。 また、本会議終了後も、原局の希望があれば、子ども議員に対して、アンケートなどの市政に関する協力の依頼や案内を行っている	子ども権利推進課
21	子どもに関する実態・意識調査			○				札幌市における子どもの実態や、子どもを含む市民の意識を把握し、子どもの権利の推進に関する計画に反映させるための基礎資料として、平成22年2月に市民アンケートを実施	小学4年生以上の子ども5,000人(大人5,000人)	③子ども用のアンケート用紙については、小学生と中学生～18歳以下の2種類作成した。 また、学年等に応じふりがなを付けた。	子ども権利推進課
22	子どもの権利委員会			○				札幌市における子どもに関わる施策を市民にわかりやすく提供することを目的とする 実施日・場所は申込団体ごとにご相談。	高校生3人が子どもの権利委員として参加(委員総数14人)	③市内の高校に募集チラシを配布。	子ども権利推進課
23	札幌市リサイクルプラザ(エコキッズスクール)			○				ごみ減量・リサイクルの情報を市民にわかりやすく提供することを目的とする 実施日・場所は申込団体ごとにご相談。	参加人数:3団体213人(対象は10人以上の団体、先着12団体。子ども・大人それぞれに対応。)	③募集における工夫:広報さっぽろ4月号掲載、施設ホームページ及び情報誌での紹介、 ④工夫:ゆづり時間をかけて取り組むことが出来る「夏休み」期間中に開催。夏休みの自由課題として行事への参加者を呼びかけ、1日を通して材料加工から組み立て及び塗装を行った。 ⑤参加者に対し事業参加への感想を聞き取り	環境ごみ減量推進課
24	リユースプラザ(夏休み藤村工作教室)			○				リユースプラザでは、ごみ減量啓発イベントの一つとして、家庭で不用となった木製家具の中で再利用できなかった家具の一部を利用した木工工作教室を開催。イベントへ参加することで、子どもたちに再利用への取り組み方を学んでもらい、物の大切さを啓発する。	参加者:小学生 20人	③広報さっぽろへ掲載及び市内の公共施設や児童会館などへのイベント周知用ポスター掲出 ④工夫:ゆづり時間をかけて取り組むことが出来る「夏休み」期間中に開催。夏休みの自由課題として行事への参加者を呼びかけ、1日を通して材料加工から組み立て及び塗装を行った。 ⑤参加者に対し事業参加への感想を聞き取り	環境ごみ減量推進課
25	かんきょう元気通信			○				7月から3月の間に、市長と児童・生徒との間で3回にわたる手紙をやりとりする中で、地球環境を守るための取り組みや思いなど、子どもたちの生の声を拾い上げ、それに対する市長のメッセージを各学校に広く発信する。	市立小・中・高校(318校)	④市長と直接手紙のやりとりができることで、環境に対する意識の向上を図る。 ⑤市長からの手紙とそれに対する子どもたちからの返事を、HPで公開。	環境計画課
26	環境教育関連施設「バスツアー」			○				環境関連施設を巡ることで、子どもたちに体験的に、そして楽しく環境について学ぶ機会を設けるため、今年度4月～3月に5回市内の環境関連施設を対象にバスツアーを実施している。	市内小学生(平成21年度約150人)	③企業との共催で行っているため、市内小学生に配布しているフリーペーパーを活用し、募集を行っている。 ④自然やエネルギーなど、1日のツアーの中で、テーマをもって環境について学んでもらう。 ⑤実施後アンケートを行っているほか、HPやTV等で開催結果を公開している。	環境計画課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者・発案者 準備・当日手伝い	市政への意見 アンケート等	その他 意見募集・意見箱等	子ども参加の内容			備考	担当部・課
						取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	②主な対象及び参加人数	特記事項		
27	さっぽろ子ども環境コンテスト2009		○			①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 小中学生が行っている環境保全活動を発表し、優秀な取組を表彰することで、周囲の子どもたちや大人たちへ活動の輪を広げることが目的として、11月28日に札幌エルプラザ3階ホールで開催した。	市内小中学生(発表団体:9団体54人、来場者は大人も含め約200人)	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他		環境計画課
28	エコアート		○			環境に関する保全の意識と想像力を養うことを目的に児童から作品(絵画)を募集した。	160作品(小学3年生~中学生)	③市内小中学校へ募集チラシを配布。ホームページ上や広報さっぽろ、エコチル(環境情報誌)などに掲載。 ④夏休みに取り組んでもらえるよう募集期間を8月1日~9月30日とした。(作品審査会10月19日、表彰式12月5日、移動展11月26日~12月27日※市内4箇所) ⑤実施後は表彰式や作品展示の様子をホームページ上で紹介。	札幌市環境プラザ(指定管理者:財団法人青少年女性活動協会)で実施	環境計画課
29	エコ+1 (エコプライチ)		○			遊びをとおして環境問題や環境保全をはじめとする環境問題と日常の行動に結びつけて考えられる内容でゲームを展開。ボランティアの協力による事業。 「おもちゃのぼくりっこ」子ども達に物を大切に使い、使用しなくなったものは交換することやまた生かせることを伝え、環境に関心を持ってもらうことを目的に実施。	参加人数364名 小学生等	③市内児童館などにチラシを配布。広報さっぽろに掲載。 ④子どもたちが環境問題について考え、自ら行動に移すことができるきっかけとなる内容を企画。 ⑤参加者にアンケートを実施。実施後の様子をホームページで掲載。	札幌市環境プラザ(指定管理者:財団法人青少年女性活動協会)で実施	環境計画課
30	協力事業 「地球温暖化ふせぎ隊体験エコ教室」 「おもちゃのぼくりっこ」			○		「体験エコ教室」 ③児童館、環境関連施設へのチラシ配布。広報さっぽろへの掲載。 ④小学生や家族連れの間が多い土曜日に開催。 「おもちゃのぼくりっこ」 ③児童館、環境関連施設へのチラシ配布、広報さっぽろへの掲載。 ④交換するおもちゃを持参しなかった子どもたちにも遊具で遊べるスペースを設けている。 ⑤事業の様子をホームページ上に掲載	「体験エコ教室」 ③児童館、環境関連施設へのチラシ配布。広報さっぽろへの掲載。 ④小学生や家族連れの間が多い土曜日に開催。 「おもちゃのぼくりっこ」 ③児童館、環境関連施設へのチラシ配布、広報さっぽろへの掲載。 ④交換するおもちゃを持参しなかった子どもたちにも遊具で遊べるスペースを設けている。 ⑤事業の様子をホームページ上に掲載	札幌市環境プラザ(指定管理者:財団法人青少年女性活動協会)で実施	環境計画課	
31	さっぽろエコ市民運動			○		子どもエコライフの取組を推進するため、夏休み前と冬休み前に、全小中学校へエコライフレポートを配布し、提出を呼びかけている。	小中学生が対象。	③教育委員会と協力して、小中学校への働きかけを行っている。(H21夏休み版は、ほぼ全ての学校で取り組んでいたが、小学生が76,400人、中学生が37,886人参加) ④子ども版は小学校低学年用、高学年用、中学生用の3種類を用意し、子どもの成長段階に合わせた表現、内容にするなど工夫している。 ⑤各学校へ、取組の結果による二酸化炭素削減量と換算した植樹本数を記載した認定証を送付している。		環境計画課
32	新エネルギー親子見学会		○			見学会を通じて、環境問題を学習する。9月13日(日)にエルプラザ(太陽光発電)、石狩市風力発電施設、モエレ沼公園ガラスのピラミッド)を見学。	小学3年~6年とその保護者15名	③保護者と一緒環境問題に関する学習ができる機会を提供した。 ④親子で参加可能な日曜日に設定。 ⑤保護者むけにアンケートを行った。		環境計画課
33	水辺とのふれあい推進事業		○			生物が生息できる水辺を保全、回復することを取組の目的としている。活動は身近な河川で水生生物の捕獲、観察を通して環境意識の向上を図っている。7/20精進川、7/26琴似発寒川、8/1吉田川、8/17左股川、8/23穴の川、8/31中の川にて実施	水辺で活動を行う団体、環境教育リーダー1名、環境教育リーダー1名、制度を活用し独自に利用した団体など延べ9団体(630名)	③建)河川計画課との連携。環境教育リーダーや過去実施団体による紹介。 ④観察道具の貸出しやパンフレットの配布 ⑤水辺の活動発表会を開催し、実施した活動に関する情報交換や団体間交流の場を提供(2/21実施)	実施団体が学校の場合は主に子供が参加、町内会等の場合は大人と子供が半分以上ずつのケースが多い。	環境計画課
34	もくもく工房		○			事前に申し込みいただいたとき、円山公園で発生した自然素材(どんぐり、マツボックリ等)、剪定枝や枯損木を利用してリースやオリジナル作品を作製する。年間4回以上実施	子どもや親子を含め、年間約100名	③円山児童館展示、館内掲示、ホームページ等による ④島本品を作成するにあたり、マンネリ化のないよう試行錯誤している。 ⑤参加人数の把握。アンケート結果を参考に次の回の作品を検討する。		環境計画課
35	ネイチャークラフトフェスティバル		○			遊びを通して植物を知り、植物廃材の再利用を体験していただき、植物や公園に関する理解を深めていただく。剪定枝を用いた「丸太クラフト」、「小枝でお絵描き」、前年秋の木の葉を用いた「木の葉のアクゼサリ」、落しや中古鉄を用いた「花とハーブの鉢植え作り」、植物を五感で体験する「植物の香りクイズ」などのコンテンツを実施。7月30~31日の2日間、豊平公園緑のセンターにて開催。	近隣小学校を中心主に市内の小中学生が対象。2日間で668名が参加。	③近隣小学校に案内配布。 ④都市緑化植物園・公園に相談し内容で、体験を通して理解を深めていただくよう考慮。		環境計画課
36	ながぐつの日		○			小学生の親子を中心とした自然観察会(毎月第2土曜日開催)、ボランティア団体「平岡どんぐりの森」との共催イベントで、環境教育の一環として、平岡公園に生息する生物を観察会を通して触れることにより、生態系の成り立ち、外来生物の環境への影響等の理解を促す。	小学校低学年20名程度	③公園管理事務所掲示板やHPやHPでの募集等 ④対象の年齢層を考慮し、平易な言葉で説明するようにしている。		環境計画課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 連携・当日手 伝い	参加者による 評価	市政への意見		子ども参加の内容			備考	担当部・ 課
				アンケート等	その他	特記事項	②主な対象及び参 加人数	①取組の趣旨・目的・参加の内容、実施日・期間・場所等		
37	サケの絵をかこう!	○				①取組の趣旨・目的・参加の内容、実施日・期間・場所等 体験放流の日(5月5日)の関連イベントとして、参加者に自由に参加の絵を描いてもらい、その後館内で展示、投票により翌年の放流告知ポスターに採用している	②主な対象及び参加人数 子どもや親子を想定、絵の展示数は約200点	特記事項 ③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他		
38	マイタウン・マイプラン ワークショップ	○				花の種やその他資材を配布し、担当教諭の指導のもと、子供たちが主体となった花苗づくりを行い、花と絵のまちづくりへの関わりを深めてもらう。各学校、幼稚園で個別に実施し、4月頃に播種、6月頃に花壇定植のスケジュールが一般的。	札幌市内幼稚園・小学校 平成21年度の実績 幼稚園26園 小学校192校	③小学校長会や幼稚園長会で事業内容の説明を行い、札幌市立の各小学校・幼稚園へ希望調査を行っている。 ④巡回指導や電話にて花苗づくりの技術的支援を行うほか、ハンドブックを各施設に配布することで、担当教諭がスムーズに子ども達に指導できるようサポートしている。 ⑤「こんなに咲きまじらレポート」を後日送付いただくことで、活動の様子を把握し、次年度の参加者になっている。		
39	藻岩どんぐり公園の整備	○				藻岩どんぐり公園の再整備工事にあたり、工事期間中に児童会館などの子ども達を集めて工事現場見学会を実施。完成後の利用者である子ども(主に小学生)を対象に9月29日 1回実施	児童会館に通う小学生 約50人	③児童会館及びまちづくりセンター、町内会に募集の協力を依頼 ④小学生が興味を持って、普段見ることのできない砂場など遊具の出来あがる仕組み等を紹介した。また、終了時には児童会館やまちづくりセンターに設置するためのプランナーづくりを球根を使って実施した。		
40	一日飼育係	○				飼育体験を通じて、命の大切さ、動物愛護精神の向上、環境問題への関心を深める。7/29、7/31、12/26、12/27の計4回実施	市内在住の小学4～6年生、合計68名	③HP、広報さっぽろ、動物園だよりへの掲載 ④毎年夏休み、冬休み時期に開催、動物に関する理解を深められるようテキストを配布 ⑤終了後アンケートを実施		
41	市内児童会館との 園内畑作りと収穫	○				命にはつながりがあり、一人(ひとつ)では生きていけないこと、周囲への思いやりが大事であることなどを学んでもらう。6月中旬～9月中旬畑作り、9/19動物園への野菜寄贈、9/23～12/7動物のエサやり体験を通して、食べ物への関心を深める(食育)	市内73箇所の児童会館に通う児童、えさやり体験は1館30名	③各児童会館での募集 ④土を作る細工→動物→動物→動物の餌場などを見学し、命の動きを観察した。 ⑤始めと終わりに動物たちへの思い、知っていること・学んだことを聞き、変化を感じさせた。		
42	札幌国際短編映画祭	○				＜映像制作ワークショップ＞映像人材の裾野を広げるため、小学生を対象に映像制作体験するワークショップを開催。日時:6月20日、7月4、5日。場所:円山動物園、宮の森小学校、宮の森明和会館 ＜子ども審査員＞映画祭への市民参加と映像教育の一環として、小学生を審査員とした審査会を開催。日時:9月27日。場所:(株)ラフト	＜映像制作ワークショップ＞ ③地元の町内会と連携して広く募集した ④地元小学校、PTA、町内会が連携して地域に根ざした活動として実施 ⑤制作した映像は、札幌国際短編映画祭の開催期間中に会場で上映 ＜子ども審査員＞ ④事前に映画祭事務局で候補作品を絞り込み、小学生が理解しやすい作品を審査対象とした ⑤選出した作品は、札幌国際短編映画祭の開催期間中に特別賞として授与した。			
43	職人塾	○				若者が技能労働への理解を深めることで、事業内職業訓練事業をPRするとともに、技能者を志す人材の確保を目指す。札幌市産業振興センター等を会場に、建築・プロダクト・造園・タイル・美容の5職種において、平成21年10月、それぞれ週1回×全4回の職業体験実習を実施。	対象は15歳～概ね34歳までの若年者 でものづくりの現場で働く意欲のある方(定員各10名)	③市内高等学校等へ周知を行った。 ④学生が参加できるように開催日は土曜日とし、入門レベルの内容とした。 ⑤実習の最終日にアンケートを実施し、今後職業訓練校から案内等を希望するか確認を行った。		
44	子ども体験農園	○				農業委員が子どもたちに体験農園の場を提供し、自分たちで育てた野菜を自分で収穫して食べるなどの体験を通じて、「食」の大切さを学んでもらう。5月～8月の間に、種まき、草取り、収穫などを行い9月には収穫した野菜を使って調理して食べた。	小学生とその親35人。	③北広島市農業委員が主催し、募集を行った。 ④子どもが主体となり取組めるよう、農業委員はお手伝いに徹している。 ⑤実施後はアンケートを行った。		
45	総合学習	○				農業理解の促進を目的とし、参加者は一般親子や小学校を対象 5月～11月の期間、さくらんどで実施	小学校、コース別で12組～50組	③広報さっぽろ等で募集 ④じやががいも、そば、大豆、もち米等 ⑤実施後はアンケート		
46	藻岩で星見☆ナイト	○				街灯りの影響が少なく、また自然豊かなフィールドである藻岩山ロープウェイ山頂駅付近にて星の観望会を実施し、子どもたちを対象とした天文学習の機会を提供する。日程は、8月12日と10月16日の2日間行った。	小・中学生とその保護者 約180名	③広報さっぽろに掲載し、区役所などにチラシを配布。 ④実施後にアンケートを実施。 ⑤特になし。		

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 準備・当日手伝い 参加者・発案者 参加者による評価	市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課
			アンケート等	その他	特記事項	②主な対象及び参加人数		
					①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他		
47	子どもの映像制作 体験事業	○ ○ ○ ○ ○			中学生を対象にプロの指導の下、本格的な映画制作を一から体験させ、本市の新しい映像文化環境を創出する。5月～11月にかけてワークショップを20回実施(撮影を含む)。また、同様に全国で中学生が制作した映画を募集し、11月21日に北海道立近代美術館講堂で、全国中学生映画祭を実施	③市内の中学校へチラシを配布 ④ワークショップは土日に実施し、撮影は夏休み期間に実施する。 ⑤完成した作品でDVDを作成し、参加者に配布した。		観)市民文化課
48	さっぽろアートステーション/アート!ミート!マート!	○ ○ ○ ○ ○			平成21年11月1日に札幌市役所1階ロビー・地下1階でアートのフリーマーケット及び子ども向けワークショップを実施した。	③市内の小中学校にチラシを配布 ④対象を高校生以下に限定したワークショップを実施 ⑤子ども達が作った、ウェルカムアート、切り絵アート、ゲルアートなどをさっぽろアートステーションの500m美術館会場で展示した。		観)市民文化課
49	ジュニア・チャレンジ・ジャム	○ ○ ○ ○ ○			北海道の子どもたちが、さまざまな交流や体験を通して情操を育み、その夢や希望を大きく膨らませる「場」の提供を目的として実施する。9月11日(土)～12日(日)開催会場札幌芸術の森	③小学校全生徒配布の紙媒体を利用。また、南区の児童会館の行事に紹介して頂いた。 ④舞台運営の補助や司会者を小学生が担当した。また、指導などについて、児童会館のスタッフと連携を行った。 ⑤運営に関わった全スタッフによる反省会を行った。		(財)札幌市芸術文化財団芸術の森事業
50	冬休みクラフトスケール	○ ○ ○ ○ ○			冬休み期間中、小学生以上を対象とした気軽なものづくりを体験できる場を提供。開催日・内容12/5(日)やさしいまつくりで、飯茶碗をつくらう12/23(機織り体験～マーマラーを織る～1/16～17(お正月干支飾り(とらの親子)」ほか。会場:クラフト工房、木工房	③札幌市内の小中学校に案内パンフレットを配布するなどして告知 ④開催時期を12月・1月の冬休み期間とし、自由研究にも役立つ内容とした。 ⑤受講者に実施後アンケートを実施		(財)札幌市芸術文化財団芸術の森工芸課
51	ハロー!ミュージアム	○ ○ ○ ○ ○			優れた芸術を鑑賞するなどの創造的な活動に取り組み機会を提供することにより、札幌市の子どもにも文化芸術を愛好する心構えと豊かな情操を養うことを目的とする。「佐藤忠良記念子どもアートリエ」又は札幌芸術の森美術館で、美術館スタッフと対話をしながらの鑑賞活動や、粘土で家族や友達の名刺を作る表現活動を行う。年間を通して、参加校の希望日に実施。	③教育委員会から市内小中学校に実施要項を配布 ④参加校対象の事前説明会を開催し、プログラムの内容やねらいを各学校の担当教諭に知ってもらい、協力をお願いしている。また、実施当日を迎える前に事前学習を行い、子どもたちに美術館や鑑賞について事前の知識を学ばせている。 ⑤各参加校担当教諭にアンケートを実施		(財)札幌市芸術文化財団芸術の森美術館
52	絆コンサート	○ ○ ○ ○ ○			旧制西高出身彫刻家を紹介する企画展に併せ、現役生徒の参加による盛上りを狙い、西高及び同校オーケストラ部との共同企画として実施した。場所:本館ロビー・展示室 (実施日:参加人数15/17(日)33人、6/28(日)28人 各日13:00～13:30	③④各回の出演メンバー、演目はオーケストラ部一任(生徒の自主企画)とした。 ⑤ホームページで実施成果を公表し、実績数、記録写真を学校に提供した。		(財)札幌市芸術文化財団札幌彫刻美術館
53	Kitaraフアーストコンサート	○ ○ ○ ○ ○			次代を担う子どもたちが豊かな感性を育てられるよう、学校の音楽授業の一環として開催。また、大人と同じように、演奏会を楽しむ、マナーなどを身につけてもらう機会とする。平成21年度は、9月、11月、12月にKitara大ホールで計10公演実施。	③札幌市文化庁、教育委員会、札幌交響楽団と連携し、日程調整、プログラムの検討等をおこなっている。 ④小学校の音楽教材を視野に入れたクラシックのオーケストラ作品を鑑賞する。指揮者やオーケストラ回員が楽曲解説や楽器紹介をおこなう。児童がオーケストラに合わせ合唱できる曲を取り入れ、楽器のイラストやオーケストラの配置図を入れたプログラムを配布。 ⑤参加校(教師)に対しアンケートを実施。結果を次年度以降の開催に反映させる。		(財)札幌市芸術文化財団札幌コンサートホール
54	紙工作～オルガンのパイプを鳴らしてみよう	○ ○ ○ ○ ○			楽器の仕組みを実際にパイプを製作することで理解する。平成21年5月16日(土)札幌コンサートホール会議室にて開催。	③近隣小中学校及び児童会館に開催案内チラシを配布。大ホールでのパイプオルガンのレクチャーコンサート(オルガン音楽小史と足鍵盤の仕組み)と同日開催し紙工作の後に、実際に大きなパイプオルガンの演奏を楽しむようにした。 ④講師がプロジェクトを用いて説明するほか、スタッフが各参加者にきめ細かく補助。参加者の能力に合わせ時間ゆとりをもたせて実施。 ⑤アンケート実施。紙で立派な音が出るパイプがつくれて驚いた「楽しかったので家ででも作ってみよう」などの回答があった。		(財)札幌市芸術文化財団札幌コンサートホール
55	子どものための舞台芸術ワークショップ めのおオレタワークン	○ ○ ○ ○ ○			子どもたちが舞台芸術に親しみがから表現力を伸ばすとともに、豊かな感性を養い、発表公演、他施設へのお出かけ公演/平成21年9月～平成22年2月/教育文化財団(ワークショップ、発表公演)及び里塚・美が丘地区センター(出張公演)	③市有施設へのチラシ配布他、教育文化財団HPでの募集 ④子どもたちをグループ分けし、教員が伴って、一人一人に内容が伝わるように工夫している。 ⑤発表公演後、参加した子ども達による交流会を設け、子どもたちどうしの親交を深めるとして実施している。参加者にアンケートを実施し、次年度以降の事業の参考としている。		(財)札幌市芸術文化財団札幌市教育文化会館

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者・発案者 運 携・当日手 続	参加者による 評価	市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・ 課
					アンケート等	その他	特記事項	②主な対象及び参 加人数		
65	市営交通子ども絵 画展	○	○				①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 絵画を通じて、市営交通への理解と愛着を深めてもらう ことを目的として、「札幌の市営交通」をテーマに絵画を 募集した。 募集期間>平成21年7月1日～8月24日 <展示>平成21年9月5日～9月27日 <表彰式>平成21年9月27日 <展示場所>交通資料館	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他	財)札幌市 交通事業 振興公社 総務部企 画課	
66	札幌市営地下鉄ナ ントキラリー「レイト ン」教授の挑戦状	○	○				事業への参加を通じ、市営交通への理解を深めてもら う。11.21.21～12.18までの期間、地下鉄各駅でクイズを 実施。参加者は応募用紙に答えを記入し、郵送で応募を 行なう	③対象階層に対し、小中学校を通じてチラシの配布を行なった ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤当選者への賞品送付、ワイスの回答のホームページ掲載 ⑥その他		
67	サタデー・テーリン グ	○	○				子どもたちが自立的に「ふるさと札幌」を学習して歩く手 助けとなすとともに、公共交通機関の便利さや快適さを 学んでもらう、併せて交通マナーを身につけてもらう。前期 (4月～9月)後期(10～3月)の毎週土曜日に公共施設等 30か所を回るスタンプラリーを実施している。	③周知チラシを市内小中学校へ配布。 ④スタンプを集めるだけでなく、学ぶ・体験できるような施設を選択。	財)法人札幌市交通事業振興 公社へ業務委託している	
68	地下鉄への乗車マ ナー教室	○	○				当該小中学校の児童は地下鉄で通学することが多く、ホー ムなどで危険な場面があるとの意見が乗務員からあった ことから、利用する際の危険な行為やマナーについての 出前教室を実施した(平成21年12月17日)。	④実際に接する駅員、運転手、車掌が講師を務めることにより、より身近でわかりやすい内容に 感じてもらえるようにした。	交)業務課	
69	地下鉄車両基地の 見学	○	○				総合的学習の時間などの社会見学の一環として、地下 鉄の仕組みや仕事を理解してもらうため、見学を受け入 れている(団体、学習目的に限る)。	④ビデオを使用した説明のほか、実際に車両に触れもらおうなどわかりやすい説明を行っている。 ⑤児童・保護者それぞれにアンケートを記入してもらっている。	交)業務課	
70	水道展	○	○				水道事業への理解と関心を高めるため、7月4日の両 日、水道記念館を会場としてイベントを実施した。	③各幼稚園、小中学校を通じて全児童にチラシを配布。 ④来場者が楽しめるよう体験型の企画を多く実施した。駐車台数が限られるため、シャトルバス を運行した。	水)総務課	
71	夏休み親子水道施 設見学会	○	○				8月5日の2日間にわたり、水道水が作られる過程に 沿って定山沢ダム～藻岩浄水場・水道記念館を見学。 イベントを通じ、防災意識の啓発や浸透を促す事を目 的とする。また、子供連の間に交流が深まり防災力の強 化へ繋がることを狙いとする。また、阪神淡路大震災の 悲惨さを風化させないように広くアピールする。 実施時期は、小中学校の冬休み期間を考慮した1月12日 から1月31日までの20日間。	④前年までのアンケート結果等を踏まえ、普設見ることが出来ない立入不可の施設・場所等を 見学ルートとしている。 ⑤児童・保護者それぞれにアンケートを記入してもらっている。	水)総務課	
72	市民防災センター 冬の特別企画	○	○				イベントを通じ、防災意識の啓発や浸透を促す事を目 的とする。また、子供連の間に交流が深まり防災力の強 化へ繋がることを狙いとする。また、阪神淡路大震災の 悲惨さを風化させないように広くアピールする。 実施時期は、小中学校の冬休み期間を考慮した1月12日 から1月31日までの20日間。	③お知らせに当たっては児童会館や小中学校の協力を得て、チラシ配布・掲示を行っている。	消)総務課	
73	教えて！ファイヤー マン	○	○				小中学校に消防職員が出向き、消防職員が講師となっ て体験型授業を行い、児童に防火の基礎知識を学ん でもらう。119番通報の模擬体験、煙の中からの避難体 験、水消火器による消火体験、災害現場で使用する資 器材等の展示、着衣体験など。	③学校の授業として実施。 ④写真やイラストを用いた教材を使用し、消防の仕事について分かりやすく説明している。また、 主に体験できるカリキュラムを取り入れている。 ⑤児童、教諭、参観した保護者からアンケートを実施し、次年度以降の参考としている。	消)予防課	
74	ジュニア防災スクー ル	○	○				消防職員が中学校に出向き、中学生に実践的な防火防 災教育を行い、中学生に災害時に役立つ知識、技能を 身に付けてもらう。	④救命講習や災害図上訓練など実践的な活動を取り入れる。	消)予防課	
75	オープンキャンパ ス	○	○				消防学校庁舎(寮・教養・訓練施設)見学、消防車員の 業務内容の説明、消防科学研究所の火災実験見学、 放水、救急、救助活動の体験、はしご車搭乗、特別高度 救助隊訓練展示、消防ヘリコプター機体展示、消防音楽 隊の演奏会などを、今年度は8月7日に実施	③募集にあたっては、学校の協力を得て、ポスター掲示を行った。消防局ホームページを活用 した。 ④参加しやすいよう夏休み期間中に実施した。	消)教務課	

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者・発案者 準備・当日手配	参加者による 評価	市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課
					アンケート等	その他	特記事項	②主な対象及び参加人数		
76	総合防災訓練	○					①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 H21.9.1 9:35～10:05 豊平川河川敷にて 避難訓練の実施	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他		中)総務企画課
77	ウインタースポーツフェスタin大倉山	○					ストラックアウトのコーナーで参加(来場)者の対応、運営の手伝いを行う。平成22年2月7日 1日開催 大倉山ジャンプ競技場	③学校への依頼 ④学校への事前説明資料を用意、送迎バスの用意、案内員の用意など ⑤非常食の配布		中)地域振興課
78	ちびっこサマーランド	○					多様な地元住民と交流し、子どもの創意工夫等の遊びを通して心や体のすこやかな成長を育むことを目的とし、8月17日に実施。施設の特設を生かし開放。	③児童会館・小学校PTA・幼稚園・保育園・4連合町内会・まちづくりセンター等の協力を得て、チラシ配布、ポスター掲示を依頼。 ④主催者及び協力者団体は、開催に向けて実行委員会を結成し各ブースの内容等を定める。開催の2ヶ月前から、協力団体による手作りの遊具制作に入る。また、高校生も遊具制作に携わり、開催当日は子どもたちとコミュニケーションをとりながらサポーター役として協力をお願いしている。 ⑤実施後、実行委員会の反省会を開催し、翌年度の運営の参考にしている。	指定管理者が実施(旭山公園連地区センター)	中)地域振興課
79	子どもの交流の日	○					学校以外での子どもたちの交流の場を提供する。毎月第3日曜日実施。	③広報さっぽろ、区民センターホームページへの情報掲載。 ④中央区子ども会育成連合会と協働し、事業内容を企画している。 ⑤実施後参加者アンケートを実施し、次回以降の参考にしている。	指定管理者が実施(中央区民センター)	中)地域振興課
80	地域と創る冬みち事業	○					この取り組みでは、地域の児童が、雪による市民生活への影響や、それに対する札幌市の除排雪の取り組み、除排雪に携わる人々の工夫や努力を学ぶことで、地域に参画する芽を育てることにつながるものである。 ・緑丘小学校(4年生35名)出前講座(10/21)、除雪機械体験会(10/28) ・山鼻南小学校(4年生・60名)出前講座(2/2)、除雪機械体験会(2/3) ・中央中学校(2年生・150名)出前講座(2/4) ・二条小学校(4年生・60名)出前講座(3/1)	④出前講座においては、パワーポイント、動画、アニメーションを活用し、除雪作業をわかりやすく説明。また、除雪機械体験会においては、除雪機械の体験試乗、死角の確認による安全確認、砂ペレットボルの作成を行っている。		中)維持管理課
81	北区明るい選挙啓発子供たこづくり工作会	○					冬休み期間を利用して1月15日に、区内の児童会館及び公園で実施。	③児童会館が発行する行事のおしらせに情報を掲載してもらった。 ④児童会館と相談の上、冬休み期間のうち比較的に子どもが集まりやすい日程とした。		北)総務企画課
82	子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業	○					子どもたちの日常に潜む危険に対する注意力の向上により、自ら危険を未然に防ぐ能力、そして、被害を最小限に抑えることなど、方が一の事態に対応できる判断力の育成を目的とする。通常2日間の実施とし、1日目は事業説明及びフィールドワーク。2日目に地図作成を行う。各小学校ごとに実施し、対象学年は学校と相談のうえ決定。地域団体との協働により、サポーター役として参加していたが、事業を通じて地域と子どもコミュニケーションの促進も図っている。	③小学校長会の場で参加依頼を行い募集している。北区内29小学校内9校で実施。 ④希望校に事業概要を説明し、開催時期を調整している。また、サポーターとして参加される地域住民に対しては、事前説明会を開催し、事前周知を図っている。 ⑤各小学校において、実施。過去の実施校においては、授業の一環として、自主的に安全マップづくり事業を毎年実施している。		北)総務企画課
83	子ども広報記者	○					1、3月号に記事掲載。区役所、学校、地域の行事等で活動を行う。	③広報さっぽろへの募集記事掲載、学校へのチラシ配布、子ども会や学校の部活動への声掛け。 ④子どもが興味を持って取材できるような題材の選定、主に土曜日に活動を行う。 ⑤取材の結果として記事を作成、取材を行っての感想等も記事に掲載。		北)総務企画課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者による 認識	参加者・発案者 準備・当日手 広い	市政への意見 アンケート等	その他	子ども参加の内容			備考	担当部・課
							取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	主な対象及び参加人数	特記事項		
84	地域連携事業「GO!GO!きたっこ夏まつり」・「GO!GO!きたっこあそびランド」	○	○	○	○	○	①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 子育てで家庭と地域の人々、学生ボランティアが、遊びを通して楽しく交流できるような企画している。8月～小学校公園 1月～小学校・中学校で開催。	②主な対象及び参加人数 子育てで家庭の親子、地域関連団体。	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他		北)健康・子ども課
85	次世代育成支援事業	○	○	○	○	○	生命誕生等の簡単な話をしたあと、グループに分かれ自己紹介・交流(赤ちゃん抱っこ)一緒に遊ぶ・母親の話を聞く)をする体験型授業。	実施校 3校(インフルエンザで中止～3校)。	④学校訪問し事業説明の後、学校からの要望により実施(時期については、学校と協議)。 ⑤終了後は、学生・親にアンケートを実施。		北)健康・子ども課
86	児童・生徒との広報誌つくり 共同編集事業	○	○	○	○	○	広報誌つくりの若年層の読者拡大を図ることを目的に、若者の視点や感性を取り入れた誌面づくりを行う。実施時期は、H21.11月からH22.4月まで。	東区内の小・中学校および高等学校の児童・生徒	⑤広報誌の完成後、共同編集について振り返り、児童・生徒と一緒に事業の検証を行う。		東)総務企画課
87	東区明るいう選挙啓発 発書道展	○	○	○	○	○	小学生を対象に選挙にちなんだ書道作品を募集すること、選挙について理解してもらい、また作品を区民センターに展示することにより、広く区民に対して、明るい選挙を呼びかけることを目的としている。 今年度は、区内に28校ある小学校に案内し、応募のあった作品の中から最優秀、優秀、佳作(計64点)を選び、その入選作品を22年1月5日から12日まで区民センターロビーで展示する。	区内小学校3年生から6年生(16校2549名)	④3,4年生用、5,6年生用の常用漢字に沿うよう選挙にちなんだ課題文字を指定した。また、展示時期は、冬休み中(1月5日から12日)としている。		東)総務企画課
88	東区子どもボランティア体験塾	○	○	○	○	○	将来、地域の担い手となる子どもたちにボランティア活動を体験してもらい、まちづくり活動への参加意識を醸成するため実施。 小学校高学年を対象に、ひがしく雪まつりウエルカム協議会のボランティア活動を体験してもらおう。 日程:雪まつり期間中の土曜日または日曜日の午前半日。場所:雪まつりつと一む会場。	区内小学生10人程度募集	③小学校の協力を得て、チラシの配布・掲示を行う。 ④ ・実施日を学校が休みの土曜日または日曜日とする。 ・参加者の目標や達成状況を発表させる。 ・参加者の案内は、保護者用と子供用と2種類送付する。 ⑤ ・終了後、アンケートを実施し翌年度の運営の参考にすることにも、活動の様子をHPで紹介する。 ・集合写真等を参加者全員に送付することにも、活動の様子をHPで紹介する。		東)地域振興課
89	ひがしが交流まつり	○	○	○	○	○	町内会、ボランティア団体、児童会館、区内の大学が連携して、様々な課題についての地域の取組を区民が共有し、地域に暮らす人たちがより良い関係を育むためのきっかけづくりとなる交流を促進するフェスティバルを開催。(平成21年度は11月15日) 子どもたちは、来場者としての参加のほか、一部ブースの運営を行った。	東区民(平成21年度の参加実績は延べ4310人)	③来場者の募集にあたり、区内の回覧板で周知を図るとともに、区内各小学校、幼稚園、保育所の協力のもと、チラシ配布、ポスター掲示を行い、積極的に子どもにも参加してもらえようとしている。 ④子どもから高齢の方まで幅広く区民が楽しめるよう、複数のテーマのもと、様々なプログラムを展開している。		東)地域振興課
90	高校生との美化活動	○	○	○	○	○	北光第2分区分内会の人達と札幌北斗高校の生徒・教員が現状高治いや北斗高校周辺の歩道花壇に花植えを行い、また毎月1回、路上や公園等のごみ拾いを行った。ごみ拾い:5月9日(土)から毎月第2土曜日、花植え:5月16日(土)	第2分区分内会41名・北斗高校27名			東)北光まちづくりセンター
91	中学生のまちづくり入門講座(意見交換会)	○	○	○	○	○	日頃からまちづくり活動を実践している方々との意見交換を通じて、子どもたちにも参加できる活動を自発的に考えてもらい、また、まちづくりの実践につながるよう学校の協力を得ながら、その後、連合町内会主催の夏まつり運営の裏方として、子どもたちが参加する機会などを設定した。(6月3日)	札幌中学校の生徒10～15人	④まちづくりや、地域イベント・行事のお手伝いといった、中学生が参加できそうなボランティア活動例などの紹介を行い、まちづくりへの参加の動機づけを行った。		東)伏古本町まちづくりセンター
92	バイキンBveBye! 手洗い教室	○	○	○	○	○	新型コロナウイルス等の感染症やノロウイルスによる食中毒の予防には正しい手洗いが効果的で、特に、小さなうちから身に付けることが大切である。そこで、子どもたちが正しい手洗いを楽しく学べる体験型の手洗い教室を平成19年度から保育園や子育てサロンに出向き実施している。	保育園児、幼稚園児、子育てサロン参加者対象、平成19年度:14回750名、平成20年度:10回761名、平成21年度:11回679名(12月31日現在)	③東区のホームページに「手洗い教室」について掲載して広報している。また、保育園の園長会、施設の立入検査時等及びイベント開催時等に「手洗い教室」について紹介し、実施希望施設を募っている。 ④子どもたちが楽しく学べるよう大型紙芝居、クイズ、パラパラダンス、バイキン発見ミッションを用いた手洗いちェックなどを行っている。 ⑤平成19年度～平成21年度まで「手洗い教室」を実施した施設に対しアンケート調査を実施し、事業の効果と広がりを検証し、今後の取組みの参考としている。		東)健康・子ども課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	市政への意見 その他	子ども参加の内容			備考	担当部・課
				取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	主な対象及び参加人数	特記事項		
93	タッピー冬まつり(区地域子育て支援事業における地域連携事業)	参加者による企画	意見募集・意見箱	①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 子育て(乳幼児・小学生)が遊べる内容とし、学生ボランティアは親子と関わる経験ができる場として開催。(平成22年1月8日:礼拝小学校 ※年度により場所は移動)	②主な対象及び参加人数 子育て家庭、地域子育て支援者及び中高・大学・専門高校生(概ね250人)	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他		
94	次世代育成支援事業	参加者・発案者		将来編に成りうる小・中高生が乳幼児や親と交流することを通して、子どもの特性や命の尊さ、男女が共に育んでいくことの大切さなどを伝える。	・札幌北斗校:10/14・12/21:39人※新型インフルエンザ流行により類似体験とした。 ・元町中学校:校2/26:113人	③学生ボランティア募集の理解を図るため、学校に向かいの事業説明及び早い時点での協力依頼を行っている。 ④当日の学生ボランティアの写真とアンケートのまとめを送付している。		
95	白石区平和事業	参加者		札幌市民の戦争体験の記録保存、地域の中での次世代継承	小中学生(平成21年度第1回23人、第2回34人、第3回90人、第4回50人)	③校長会を通じての依頼、児童会館への依頼、白石区主催の子どもを対象にした事業とのタイアップ ④平和月間である8月を中心に学校などのスケジュールに合わせて実施 ⑤アンケートや作文で感想を寄せられた		白)総務企画課
96	中学生の主張発表会	参加者		自己の身近な体験や日ごろ関心がある事柄を主張としてまとめることにより、物事を広く深く捉え、考える力を養うとともに、聴衆の前で発表することで、表現力の向上を図る。 また、聴衆に対し青少年の健全育成についての意識啓発を図る。平成21年11月7日8:30~13:00 白石区民センター3階区民ホールで実施	区内9つの中学校の2、3年生が対象。各学校、学年の代表者15名が参加	③白石区校長会を通じ、学校に協力を依頼し、指導担当教師を各1名ずつ選任願っている。 ④今年度は40周年記念大会であったことから、中学生によるパネルディスカッションを実施したほか、区内中学校2、3年生にリーフレットを全員配布し、来場をよびかけた。 ⑤主張発表、パネルディスカッションの内容を発表集とDVDに編集し配布しているほか、ケーブルテレビ(J-COM札幌)において当日の模様を計13回放映している。		白)地域振興課
97	白石でっちゃん奉公	参加者		子ども達が、就労体験を通して大人の働く姿や地域との関わりに触れることで社会における仕事の役割を理解し、社会生活に積極的に参加する意欲を持ってもらう。実施日は、学校と受け入れ先企業との調整を経て決定。	小中学生1,353人	③学校側に参加の意思を確認 ⑤報告冊子を作成し、受け入れ先企業の拡張に役立っている。		白)地域振興課
98	白石を探そう！スタンプラリー	参加者		これからのまちづくりの担い手となる中学生以下の子ども達に、地域で生活している活動への積極的な参加を促し、自らの生活基盤と地域社会での活動を知るきっかけとする。また、地域住民と関わる機会を設けることにより、両者の関係強化を図る。 平成21年7月~10月	区内の中学生以下350名	③各学校を通じてチラシを配布した。 ④多くの子どもたちが参加できるよう、夏休みを含めた実施期間の設定とした。また、スタンプのデザインには区のマスコミキヤラクター(しろっぴー)を使用し、25カ所の会場すべてに異なるデザインスタンプを設置することにより、参加者が、楽しくスタンプラリーを行えるよう工夫した。 ⑤参加者に対するアンケートを実施した。		白)地域振興課
99	子ども遊芽カーニバル	参加者		子どもたちに自ら考え企画する機会を提供し、自主性、協調性を育むとともに、催し物を通して主催者側の子どもたちと、来場者側の子どもたちが年齢、校区の枠を超えて交流することを目的とする。平成21年7月18日、20日(19日が雨天順延となったため)に白石区役所駐車場で開催。	白石区子ども会所属の子どもたち	③ポスター、リーフレット等で広く周知を図った。 ④第34回白石区ふるさとまつりと同時開催しより集客率アップを図った。 ⑤ジュニアリーダーが中心となって反省点をまとめ翌年度の実施に活かしている。		白)地域振興課
100	親子で「わいわい」あそんじゃ王国2009	参加者		学生が遊びをとおして、乳幼児親子と交流し、その中から乳幼児の発達や親の役割、命の尊さ等を考える。(次世代育成支援)10月3日(土)、白石区民センター	区内乳幼児親子、ボランティアスタッフ(学生、子育て支援者)参加総数:651名	③ポスター・チラシは地域の子育て中の親達が作成。 ④乳幼児親子(父親)、学生ボランティアの参加しやすい土曜日に開催。 ⑤参加者(親子・スタッフ)に対するアンケートを実施。		白)健康子ども課
101	ミニクッキング教室	参加者		10月3日(土) 区民センター調理室 調理と試食・講話、子ども自身が楽しみながら調理に参加することができる	就学前の児童41名、親38名参加(3回実施)	④子どもが作りやすいメニューの選定		白)健康子ども課
102	子ども地域安全マップ作成支援事業	参加者		子ども達自身で街歩きをし、防犯マップを作成することで、「自主防犯力」「危険回避力」を向上させる目的で実施。今年度は6月に共栄小学校3年生を対象に、総合学習の一環として、学校周辺の危険箇所の把握を行った。	共栄小学校3年生102名	③授業の一環 ④3年生対象のため、事前学習用スライド等わかりやすく作るよう心がけた。 ⑤マップ作成後、皆の前で発表をし、危険箇所の共有を図った。		厚)総務企画課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加		市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課	
		企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発案者	参加者による評価	アンケート等	意見箱			その他
103	子ども向け歴史資料集「あつぱつワールド」制作	○		○		歴史資料集の企画、編集に大谷地東小学校児童が協力。厚別区内の全17の小学校の各代表児童が未来の厚別を描くためのアンケートに協力。	②主な対象及び参加人数 企画編集＝大谷地東小学校6年生14人、アンケート＝厚別区内の小小学6年生104人	特記事項 ③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他		
104	広報さっぽろ厚別区版の高校生記者	○				高校生による誌面作成。12月号厚別区版特集	啓成高校新聞局6人	③厚別区内で新聞作成の実績のある高校 ④厚別区についてのテーマを設定 ⑤完成本の贈呈 ⑥別ページで新聞局の制作過程を紹介		
105	広報ラジオ番組「厚別ふれあい・ほつと」の出演	○	○			厚別通小学校6年生が取り組んでいる「世界寺子屋運動」をラジオでPRし、協力を呼び掛ける。平成22年2月17日実施	厚別通小学生3人			
106	ふれあい絵画展	○	○			厚別区誕生20周年を記念する事業として、これからの厚別区を担っていく小学生達に参加してもらい、故郷厚別に愛着を深めてもらうことを目的に実施。11月5日～11日まで実施。会場：サンピアザ光の広場	区内小学生(3年生以上) 327人	③各学校を通してチラシを配布。区内校長会にも協力を依頼。 ④厚別区誕生20周年を意識してもらうため、厚別区の分区分月である11月に事業を実施。また、テーマも「未来に残したい厚別区の風景や町並み」とし、故郷厚別を意識してもらった。 ⑤全応募作品の展示、表彰式の実施。展示後には応募者全員へ記念品及びお礼文の送付。		
107	新さっぽろ冬まつり	○	○			子どもや家族連れを主な対象に、雪像や雪の遊びなどを行う。平成21年度は2月6日(土)、7日(日)に実施。	平成20年度の来場者は約2万3千人	③幼稚園・小学校へは塗り絵コンテストの台紙と一緒にチラシを配布している(全生徒分) ④厚別区子ども発達連絡協議会でイベントの一部を運営している ⑤来場者アンケートを行い、結果を次の回に活かしている		
108	豊平区防災訓練への小学生の参加					今年度の防災訓練では、会場となる豊平小学校の4年生及び旭小学校・東園小学校の4年生も参加して、煙道通過体験、消火器取り扱い、バケツリレー、放水体験訓練を行うとともに、豊平小学校全校生徒による避難訓練も実施され、避難訓練後には豊平消防署による救助隊展示訓練を見学した。	小学生、471人	④小学4年生が参加可能な種目を消防署と検討		
109	広報さっぽろ豊平区版の作成	○	○			誌面作成への参加により、高校生のまちづくりに対する参加意識の醸成を図る。高校生が、広報さっぽろ1月号の特集「お年玉クイズ」の問題やイラストの作成を担った。また、表紙のイラストもデザインした。期間は、9月～12月で作成。	平岸高校デザインアートコース2年生	③授業の一環として位置づけて実施した。 ④高校生が取り組みやすく、また、デザインを生かせる、カラーページである1月号の特集「お年玉クイズ」などの作成への参加とした。 ⑤作成期間を3か月と長期間とし、授業の進行に合わせて、作成を依頼した。 ⑥完成した広報紙は、学校に送付。 ⑦広報誌に対するモニター、アンケートは、毎月実施されており、表紙や特集ページへの感想、意見があれば、まとめて学校に連絡している。		
110	平和事業	○	○			札幌市における戦争体験を次世代に継承するため、小・中学生が戦争体験を聞く場を設定し、平和の尊さを考える機会をつくる。8月5日につきささぶ郷土資料館で開催。	東月寒少年消防クラブの活動の一環として実施。また、当日、つきささぶ郷土資料館を訪れた人にも自由に参加してもらった。 ④戦争体験の話を聞くだけでなく、地元の月寒の歴史の話を聞いたり、関係するDVDの視聴なども行った。また、戦争体験者に対する質疑応答も行った。 ⑤参加者に対するアンケートを実施した。			
111	元氣なまちづくり推進事業「デザインアート拠点と連携したまちづくり」	○		○		「とよひら元氣大作戦！！月間」は幅広いテーマで数多くのイベントが開催されるが、そのロゴマークの制作を通じて、当区のまちづくりに対する理解と関心を高めるきっかけづくりを担いとするもの。平成21年7月16日、23日の2日間に行われ、平岸高校でワークショップ形式により参加。	平岸高校デザインアートコース1年生40名	③高校において授業の一環として位置づけ実施。 ④テーマをよひら元氣大作戦！！月間とし、そのキーワードを「元氣」とよひらに設定。体験型ワークショップを実施するとともに生徒自身が採用作品を選定。 ⑤ワークショップをICCのHPで公開。 ⑥採用作品は当区のポスター、チラシ、広報さっぽろ、HP、イベントにおいて使用。生徒に対するアンケートも実施。 ⑦採用作品を制作した生徒、先生と区長等による懇談会を実施。広報さっぽろ区版の作成やよひらワークショップの広報ツール作成等の連携した取り組みを進めている。		

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加			事業への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課
		企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発案者	参加者による評価	アンケート等	意見募集・意見箱	その他		
112	とよひらHANA-1 AND事業	○	○	○			①取組の趣旨・目的・参加の内容、実施日・期間・場所等 (趣旨・目的)自然に恵まれた緑多い豊平区を花で飾り、美しいまちとともに、花を通じたふれあいの場を作り地域の連携やふふふと意識を育むことを目指す(内容、実施日・期間・場所等)毎年5～6月に行われる各地域での植花などに小中学生が参加している。	②主な対象及び参加人数 区内のほとんどの小中学校が参加	③参加者が募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他 ③学校側が地域との連携という意味合いで積極的にコーディネートしてくれている ④各学校・地域ごとにそれぞれ適する内容で実施している。また、子どもたちが種から育てた花も合わせて植えたり、いっしょに作業する町内会役員にインタビューをする地区など様々な工夫をしている。 ⑤種花をして終わりではなく、その後の水遣りなどにも取り組むことで継続的に環境意識が醸成されたとともに地域とも交流を図れる。また、実施の様子をホームページやまちづくり紹介誌などで紹介。	豊)地域振興課
113	第4回とよひらおもしろスノーパーク	○	○	○			(趣旨・目的)室内にこもりがちで運動不足がみえ冬に、寒さを吹き飛ばし、冬の屋外でおもしろい雪とたわむれて楽しんでいただくことを目的とするもの。 (内容・実施日・期間・場所)平成22年2月7日9:00から月寒公園地下球場にて開催	主な対象:小学生 約935名	③子どもが参加したくなるチャレンジになるようデザインを考え、完成したチラシを区内地下鉄掲示板に掲示したほか、区役所、区内各まちづくりセンター・児童会館・小学校・幼稚園等にて配布。 ④(財)札幌市青少年女性活動協会のコーディネートにより、北海学園大学、札幌大学、北星学園大学にイベントの企画段階から協力を得て、ワークショップ等を開催し内容を検討。 特に、当日のスター・ジョーナーを大學生が運営するため、その準備作業を兼ねて、児童会館の子ども連と大學生がイベントの体験型ワークショップを行った。 ⑤イベント実施後に各コーナーのリーダーから反省を出してもらい、来年度に向けて検討を行った。	豊)地域振興課
114	地域之創る冬みち事業(豊平区)			○			札幌の冬や除排雪への理解を深めるとともに、地域の雪対策に参加するきっかけづくりとして、子ども向け出前講座や滑り止め砂入りペリペリポトル作り、除雪車見学などの体験学習を小学校の協力の下、総合学習の一環として実施(12月～2月)	区内小学校の意向を確認し、希望のあつた2校6学年を対象に実施	④対象学年や除排雪に関する予備知識の有無に応じていた内容及び説明資料とした	豊)維持管理課
115	地域連携事業「げんき夏まつり」			○			事業の参加を通し様々な世代の人々とのふれあいの場として実施。乳幼児(親子)から小学生は参加者。中学生、高校生はボランティアとして参加。実施日:7月31日 場所:月寒公園	参加者総数:1729人 (参加者1489人、地域・生徒・学生ボランティア240人)	③事業開催予チラシ、ボランティア募集チラシを直接学校に依頼。ボランティアは、全校生徒・生徒会など学校で調整。 ④中学生は乳幼児が楽しめるコーナー(1ヶ所)を考え事前に準備をした。当日は、地域の方など様々な世代と関わられるよう配置した。 ⑤事業終了後、アンケートを実施した。	豊)健康・子ども課
116	元気まちづくり事業「親子ピクニック」			○			実施日:7月11日 場所:西岡公園およびキャンプ場。	2歳以上～就学前の子どもと保護者。子ども17人、保護者16人、ボランティア7人。	④自然に親しみやすい時期に開催。公園内の探索を主としていてことから歩行が完成している年齢を対象とした。楽しめるよう子育てボランティアがサポートについた。	豊)健康・子ども課
117	清田区平和事業			○			昨年度から平和都市宣言普及啓発事業(市民まちづくり局所管)を実施し、その「次世代継承事業」の一環として、各区においては、戦争体験者からの聞き取り及びその体験談を若い世代に伝える「聴かせる場」を設定し、戦争や平和について考える機会をもつてもらうことを目的に実施。今年度は、1月15日(金)清田区民センターで第8回あしりべつ郷土館まつりと併催。	子ども:約300人	③広報さっぽろに掲載・チラシの作成・あしりべつ郷土館まつりと併催のため、地域の回覧板で周知。 ④あしりべつ郷土館まつりと併催(来年度以降は未定)・参加者に景品を配布。 ⑤参加者に対してアンケートを実施。	清)総務企画課
118	平成21年度明るい選挙啓発作品の募集			○			明るい選挙の推進と選挙への関心を高めるため、清田区内の小中学生からポスターを募集(6月～9月11日)し、9月15日に審査会を実施して入賞作品(最優秀2点、優秀5点、佳作10点)を選出。今後、入賞者に対し賞状・副賞を贈呈し、応募者全員にも記念品を贈呈。この審査会は、(財)明るい選挙推進協議会主催の1明るい選挙啓発ポスターコンクール(第1次審査会を兼ね、入賞作品は市選管を通じて道選管に提出し、第2次審査(北海道審査)の対象となった。	清田区内の小中学生 (4年生～6年生)、応募者は合計で36人。	③6月に各小学校を回って教頭先生に応募をお願いした。その際、募集要項のほかに、生徒(保護者)に渡してもらったためのチラシを生徒給分用意。 ④1月にポスター展を開催(本年度は、上旬に区役所ロビーにて全作品を、下旬にジャスコ平岡店内で入賞作品のみをそれぞれ1週間程度、展示)。3月には市選管が作品展を開催。	清)総務企画課
119	夏休み白旗山自然探検隊			○			親子で白旗山の自然を案内人とともに探検し、区のシンボルである白旗山の魅力を広く周知することを目的に実施。(8月)	小学3年生～中学生の親子19組50人。	③各学校にチラシを配布し、掲示を依頼。 ④白旗山の動植物に詳しい日本野鳥の会札幌支部の協力を得て実施。 ⑤実施後アンケートを実施。	清)地域振興課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者・発案者 準備・当日手伝い	参加者による 評価	市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課
					アンケート等	意見募集・意見箱その他	特記事項	主な対象及び参加人数		
120	あしりべつ川体験塾	○	○				①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 子どもたちの環境教育・環境美化が目的。あしりべつ川での魚捕り体験・危険予知トレーニング・川原の清掃を実施。(8月)	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケートほか) ⑥その他	清)地域振興課	
121	南区明るい選挙啓発作品展「習字」	○	○				選挙権を持たない年代から選挙に対する意識を醸成することを目的に実施している。夏休み期間中に募集を行い、その後審査会を経て、冬休み期間中に区民センター等で作品展を開催する。	③各学校にチラシを配布し、掲示を依頼。 ④子どもの安全確保等のため、NPO法人あしりべつ川の会・清田区子ども会育成連合会・豊平川さけ科字館の協力を得て実施。 ⑤募集に当たっては、区内小中学校長あて文書による協力依頼を行っている。 ⑥作品例の掲示を行っている。 ⑦入賞者には、賞状及び副賞の贈呈を行っている。また応募者全員に参加賞を贈呈している。作品展の開催に当たっては、応募のあった学校長あて文書による周知案内を行っている。	南)総務企画課	
122	南区少年少女親善スポーツ大会(ドッジボール)	○	○				少年少女の体力増進及び親睦交流を目的として11月15日に南区体育館にて実施済み。	③地域の青少年育成委員に依頼 ④例年、テーマ、開催時期等を青少年育成委員会で決定	南)地域振興課	
123	藤野つくし公園の新規造成	○	○				公園新規造成にあたり利用者である子どもも参加し意見交換会を、8月22日に実施	③公園近隣住宅に事業のチラシを個別配布 ④公園造成予定場所で開催 ⑤工事開始前に意見交換会の結果を反映させた公園整備計画を近隣住宅に個別配布	南)維持管理課	
124	澁川あさひ台公園の再整備	○	○				ワークショップ:10月～12月 3回実施 聞き取り調査:9月 2回	③町内会回覧にて広報した ④現地にて聞き取り調査をし、実際に利用している子どもの意見を聞いた	南)維持管理課	
125	除雪機見学試乗会(地域と創る冬みち事業)	○	○				近くで除雪機を見学し試乗することで、除雪への理解促進と除雪機からの死角の確認をし安全学習を行っていきます。1月28日澁川小学校、2月5日藤舞小学校、2月12日石山東小学校で開催。	③小学校の授業として開催 ④除雪機に試乗することで直接死角を確認する。また近くで除雪機の作業を見学することで危険性の理解を深める。 ⑥札幌市の雪対策に関する情報提供として「雪の絵本」等の資料を配布する。	南)維持管理課	
126	平成21年度明るい選挙啓発作品展	○	○				趣旨・目的:絵でがみ作品を作成してもらう事で政治や選挙への関心を高めてもらうとともに、作品展を通じて広く区民に対して政治や選挙に関心を持ってもらい、明るい選挙を呼びかけていく。 参加の内容:選挙にあつた募集テーマを応募要領に定め、はがきサイズの用紙に募集テーマにあつた絵と文を記入して提出してもらう 実施日・期間・場所:全作品展示 1月16日から1月28日まで、地下鉄琴似駅構内(西区キヤラリ)入賞作品展示 2月1日から2月5日まで、西区役所1階ロビー	③募集開始時に各小中学校を訪問し、学校単位で取り組んでもらうように依頼した。また、入賞者に対する記念品だけではなく、参加者全員に記念品があたることも募集要領に盛り込んでいる。 ⑤応募のあった学校へ、審査結果と作品展開催案内を送付している。	西)総務企画課	
127	西区民会議活動推進支援事業	○	○				西区の自然フィールド環境を活かした環境・自然体験学習の実施(通年) 平成21年6月～12月まで15回863名参加。	③区内の小学校、児童会館、幼稚園、PTA等にパンフレットを送付し、授業、遠足、PTA行事など二ーズに合わせて実施可能であることをPR。 ④環境活動をテーマとし、対象者の実情・要望に合わせて活動のサポートを行う。、札幌市環境教育リーダー制度の紹介・活用も行う。	西)地域振興課	
128	西区民会議活動推進支援事業	○	○				平成21年12月12日(土)西区民センターホール	④子どもたちが自らステージに登壇し、自らの言葉で活動発表を行った。 ⑤発表資料は、発表する子どもたちが自ら考え作成した(ステージ発表原稿やパネル発表用模造紙など。)	西)地域振興課	
129	こども西区民会議事業	○	○				平成21年8月～平成22年2月まで全6回	④ワークショップ形式の編集会議だけでなく、自然観察会や施設見学など体験メニューを通じ、かるたの読み札・絵札の作成を行った ⑥こども西区民会議の活動について、ラジオ・テレビ番組にて自ら広報した。	西)地域振興課	

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 準備・当日手伝い 参加者・発案者 参加者による認 参加者による認 アンケート等 意見募集・意見 箱 その他	市政への意見 その他	取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	②主な対象及び参加人数	特記事項	備考	担当部・課
130	琴似発寒川稚魚放流事業	○		【稚魚放流】清流にのび生息する「やまめ」の稚魚とのふれあいを通じて、川を理解し、親しむ心を醸成するとともに、生物の生息環境や水質の保全、河川愛護等への関心を形成し、水辺・水質環境の保全に携わる機会とする。5月23日、琴似発寒川5会場 【子ども絵画作品展】事業終了後、20周年を記念して、児童会館の子供たちに、稚魚の放流をしている時の絵を描いてもらい、「子ども絵画展」を実施。8月1日から31日、地下鉄琴似駅西区ギャラリー	【稚魚放流】 ③区内の各小学校、児童会館、保育園、幼稚園などにチラシ、ポスターを送付。 ④今年度から全会場にて、コンパネ大のハネルを使用し「やまめ」の生態教室」を実施。 【子ども絵画作品展】 ④同時に放流事業説明パネルを展示。		西)地域振興課	
131	水車で地域交流会	○		子ども達に西野の歴史を伝えるとともに、精米・藁藁いを実際に体験し、先たちの英知を学ぶ。(五夫山公園、10月3日)	小学校高学年36名、地域の方58名	③各学校を通してチラシを配布。できるだけ多くの体験ができるよう適正人数を設定し事前申込み制とした。 ④精米、藁藁い、ご飯炊きなどの体験は、子供たちが自主的に行えるようにした。 ⑤実施後小学校校長と関係団体で、次回開催に向け課題等を洗い出した。	西)西野まちづくりセンター	
132	廃食油を利用した手作りローソク教室	○		身近にできるゴミ減量・リサイクルについて、より一層の理解を求めること。	実行委員会メンバー 地区子ども会に当日の手伝いを依頼(2名協力)、その他大人子供6名が参加。	③町内回覧と地区内9小学校に案内チラシ・ポスターを配布した。 ④12/12、1/10の2回開催。1回目はクリスマスに合わせ、2回目は地域イベント(アイスキャンドール)に合わせて開催する。参加者が作ったローソクを地域イベントで灯した。 ⑤参加者に対するアンケートを実施。	西)発寒まちづくりセンター	
133	地域連携事業「サマーカーニバル」「ウインターカーニバル」	○		子育てで家庭が学生ボランティア(高校生)や地域の大人々と遊びを通して交流し、お互いが身近に感じられるような事業としている。 夏は水遊びや冬は雪遊びを中心に、子どもが親や地域の大人たちと関わって遊べるゲームコーナーや集団遊びの場などを設けた。 7月に西区内の公園2ヶ所と1月に西区内の中学校校庭1ヶ所を実施。	学生ボランティア:高校生・専門生・小中学生・乳幼児・小学生 参加者:乳幼児・小学生	③高校・小学校・幼稚園・保育園・子育てサロン等に協力を得、ポスター・チラシを配付・掲示を行っている。特に子育てサロンの親子には直接PRの時間を設けている。 ④学校や幼稚園等が夏休み・冬休みの参加しやすい時期に開催している。 小学生・高校生が乳幼児と関わることができるよう遊びのコーナーを設けたり、学生にゲームの進行役を担ってもらうなどしている。 学生ボランティア(高校生)に感想文を書いてもらっている。	西)健康・子ども課	
134	育児体験支援「赤ちゃんとお遊ぼう」	○		赤ちゃんとの出合いを通して、かわいらしさやふれあう楽しさを感じてもらい、命の尊さや育児の大切さを知り、また、親の気持ちを知ること他人の立場になって物事を見たり、感じたりする共感性を育むことを目的としている。 乳幼児連れの親子が遊具で自由に遊んでいるところへ高校生が入ってもらい、一緒に遊んでもらったり親への質問をしても良かったり、親子と関わってもらおう。 7月と8月に1回ずつ開催(8月は新型インフルエンザのため中止)。北海道札幌西陵高校	西陵高校生生徒会生徒(3年生)34名 西野地区子育てサロンの親子25組 地域の子育て支援者10名	③参加の親子については、西の地区の子育てサロンにて直接PR呼びかけた。 学生については学校との話し合いで決まる。 ④生徒については事前に資料を配布し、子どもと関わるにあたっての基本的な心構えや安全面の配慮等について説明した。 ⑤高校生と親子には、体験後感想文を書いてもらっている。	西)健康・子ども課	
135	明るい選挙啓発ポスターの募集	○		新しい時代の担い手である子どもたちに、ポスターを作ることに政治や選挙への関心を高めること。作品を多くの方に見ていただき、明るく正しい選挙を推進することを目的に夏休み期間中に作成し、各学校ごとに提出してもらった。	小学生276名(10校)中学生25名(3校)が集まった。	③6月中旬に区内小学校16校・中学校9校を訪問して、作品募集を依頼した。 ④作品テーマは「選挙に関すること」 ⑤入賞作品を決定し、手稲駅自由通路「あいくる」で入賞作品展を開催している。	手)総務企画課	
136	手稲歴史発見親子バスツアー	○		手稲区で作成した「手稲区歴史ガイドマップ」を活用し、小学生とその保護者が区の歴史に触れる機会を増やし、地域への愛着や郷土の歴史に対する関心を高め、まちづくり活動への参加意欲の増進を図る。一日目は手稲区内の史跡をバスで回り、二日目はちえりあでオリジナル歴史マップを制作。 8月3～6日に2回実施。	小学4～6年生の児童とその保護者、計19組45名	③各学校を通してチラシを配布。 ④テーマを、夏休みの自由研究とし、開催時期を夏休みとした。 ⑤実施後、参加した児童にアンケートを行った。制作したオリジナル歴史マップをちえりあホールで展示。	手)地域振興課	

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営	参加者・発案者 準備・当日手配	参加者による 認識	市政への意見		子ども参加の内容		備考	担当部・課
					アンケート等	その他	特記事項	②主な対象及び参加人数		
137	小学生の夢 10年後の手稲のまち事業	○	○	○	○	○	①取組の趣旨・目的・参加の内容、実施日・期間・場所等 子どものうちから「まちづくり」への興味を持ってもらうために、自分の住んでいるまちへの思いやアイデアを絵で表現してもらう。夏休み明けに募集締切を設定。	②主な対象及び参加人数 区内の小学4年生全員を対象。21年度参加率は98.9%	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他 ③学校を通じて募集 ④締切に合わせて、夏休み期間に開催されるイベントやおまつりなどの情報を掲載したチラシを作成 ⑤アイデア作品の選考を行い、表彰式と展示会を開催するとともに、「タンケンツアアー」意見交換会を実施⑥成人式において、今年度の応募小学生数名から協力を得て、新成人へのメッセージ的要素を含めた絵の返還セレモニーを行い、未来への思いを語ってもらう。	手)地域振興課
138	子どものまちづくりへの参加促進事業(手稲タンケンツアアー)子どもたちが手稲のまちの夢を語り合う意見交換会(ワーキングショップ)	○	○	○	○	○	(趣旨・目的) 今後を担う子どもたちの、まちづくりへの関心を高め、自治意識の醸成を図る。 (内容) 手稲タンケンツアアー及び意見交換会への参加(実施日・場所) 平成21年10月4日(9時～15時30分)、21年度は、貴重な植物の自生する手稲山ろくの自然樹林のある公園(富山西公園)、水生生物の棲んでいる住宅街を流れる河川(中の川)、手稲稲山。※ただしツアー全体の場所は毎年異なる	③「10年後の手稲のまち」(区地域活動担当所管事業)と運動し、アイデア作品受賞児童を対象としたほか、昨年度ツアー参加児童にも、ツアーの様相を取材し、情報発信するための「セブンハイ隊員」としての参加を呼びかけた。 ④「10年後の手稲のまち」を描く段階では、子どもたちが頭の中だけでイメージした未来予想図だが、ツアーを通じて、より手稲の歴史や現状を考える内容としている。 ⑤今後、ツアーとワーキングショップの内容をまとめたニュースレターを作成し、参加した親子や学校等に配布する予定。 ⑥ツアーで巡るポイントの企画や子どもが楽しみながら手稲のまちを感じるための演出などの運営も、子どもに関わる活動をしている地域住民等(青少年育成委(環境教育団体にも所属)、主任児童委員(子育てサロンスタッフ)、環境学習に関わるNPO(おやじの会にも所属)、読み聞かせボランティア、区子連事務局長、児童会館、道大教員・学生、前年度参加児童の保護者)による企画会議で検討した。	手)地域振興課	
139	知的障がいのある方等を対象としたホームヘルプ事業(成モデル事業)	○	○	○	○	○	知的障がいのある方が高齢者の介護に必要な技術や知識を習得することにより、地域の福祉への貢献や福祉関係への就労など社会参加の促進の可能性を広げることが目指し、平成21年11月7日から平成22年2月7日までの期間で土日を中心に実施している。場所は手稲老人福祉センター等(区内の特別養護老人ホームでの実習あり)。	③区内にある札幌高等養護学校に協力を依頼し、在校生・卒業生へのチラシ配布や説明会を行った。また、支援者向けには広報さつぽろへの掲載や説明会を行った。 ④居宅介護従事者養成研修3級課程として実施している。開催時期については高等養護学校在校生の生徒の負担軽減等のため冬休みの時期に合わせてカリキュラムを組んだ。 ⑤受講者に対しこの講座の内容や今後の進路の希望等についてのアンケートを行い、今後の参考とする。	手)健康・子ども課	
140	親子食育料理教室	○	○	○	○	○	食生活改善推進員協議会と共催で、「健康さつぽろ21」の普及啓発を行うことを目的に、健康により食生活について学んでもらい、その実践として料理を体験してもらう。開催日は7月28日、7月31日(2回実施)、会場は区民センター等。	④小学校の夏休みに開催し、子どもが主体で調理してもらった。また、レシピは子どもでも読めるようにふりがなをつけ、わかりやすい表現を心がけた。 ⑤実施後にアンケートをとり、結果は次年度の参考にする。	手)健康・子ども課	
141	思春期ヘルスケア事業	○	○	○	○	○	思春期の性に関する健康教育を実施することにより正しい知識の普及・啓発を図る。また、体験学習により、生命の尊厳を認識すると共に、健全な親性の育成を目指す。4月～5月末までに各中学校からの事業実施申し込みを受け付け、6月～3月の期間に区内各中学校と日程を調整し、学校で実施する。	③毎年3月上旬頃に各中学校に事業周知を行い、学校より申し込みを受け。 ④子どもにわかりやすいものとなるように、事前に担当教諭と打ち合わせをして内容を決め必要な教材を準備したり、対象学年に合った内容として、漢字、ふりがなの使用に配慮した。さらに、パワーポイントの映像や実物大の模型を使用したり、体験することで、より興味をもち、その状況をより理解できるようにした。 ⑤実施後、子どもたちにアンケートを書いてもらう。	手)健康・子ども課	
142	(地域連携事業)手稲わいわい広場	○	○	○	○	○	(趣旨・目的) 若い世代の子育てへの関心を高めるため、小中高生と子育てで家庭、地域住民の交流イベントへのボランティア参加を促す。 (参加の内容) 事前準備及び当日ボランティアとして子育て家庭(乳幼児親子)や地域の人々と遊びを通して交流する。 (実施日・期間・場所等) 8/3西宮の沢公園で実施。8/4稲種小学校グラウンドで実施。22年2/14手稲稲種公園実施。	③年度当初に各小・中・高に事業予定を知らせ、計画的にボランティア活動に参加できるようにしている。 ④生徒・学生が参加しやすいよう、学校長期休暇や土・日曜日の開催を行っている。 ⑤事業終了後は、生徒・学生に対してアンケートを実施し、翌年度の運営の参考にしている。学校にはアンケートの結果、当日の活動状況(写真等貼付)を報告し、次年度のボランティア活動に繋がるよう働きかけている。	平成9年度実施時の名称「地域の親子のふれあい交流事業」。平成20年度より現在の名称。	手)健康・子ども課

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加 企画や運営 準備・当日手 伝い	参加者・発案者 参加者による 認	アンケート等 意見募集・意見 箱	市政への意見 その他	子ども参加の内容			備考	担当部・ 課
						取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等	②主な対象及び参 加人数	特記事項		
143	(次世代育成支援) 赤ちゃんついでこ い1事業		○			①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 赤ちゃんと実際にふれあうことで乳幼児の発達の変化 や、命の尊さ、育児について理解し、親になるための準 備学習を行う。(ガイダンス、対象の年代や授業案に 対応したプログラムで実施。(ガイダンス、親子とのふれあ い交流、振り返り等) (実施日・期間、場所)ガイダンス(各校1回、5~7月)、親 子とのふれあい交流授業(各校2~3回、7~2月)、各小 中学校	②主な対象及び参 加人数 手稲西中学校(3年 生3クラス・172名)、 星置東小学校(6年 生2クラス・189名)、 富丘小学校(5年生3 クラス・525名)	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他 ③事業実施協力校の募集については平成19年度から行 い、学習目的・成果の説明、学校側の カリキュラムすり合わせを進め、3校と協力して実施す ることとなった。 ④(ガイダンス):乳幼児の心身の発達や赤ちゃんと 合わせた手法(ポツッ、ハローポイント等)で実施。 (親子とのふれあい交流授業):小中学生が、赤 ちゃんと身近に感じられることをポイントに授業 を進め、母親や父親から出産・育児の経験談を聞 くことで、生きた体験学習とする。 ⑤参加した児童、生徒が、ふれあひ交流を行った 乳幼児親子へのメッセージカードを作成した。 ⑥生徒の新型インフルエンザ発症の影響があり、授 業日程の延期や内容を変更した代替授業(親子不参 加で手作りおもちゃ、メッセージカードの作成)を 実施する等の対応を行った。		手・健康・ 子ども課
144	ジュニア・ウィー ク エンドセミナー		○		学校教育とは異なる視点から、体験活動を通じ、学 ぶことと本来の面白さを発見してもらう講座と、生 涯学習センターや青少年科学館、文化資料室など の社会教育施設での活用し、特定分野の入門基 礎を学べる以下の講座を実施。 ・体験教室(10回)、パソコン教室(10回)、親子 料理教室(10回)、科学教室(12回)、歴史講座(6回)	小学生~中学生	③全市立小学校児童へ募集案内チラシを配布(前 期・後期の2回) ⑤参加者にアンケートを実施した。	21年度で廃止。 22年度以降は、「さつぽろ市民 カレッジ」において子ども向け講 座を実施する予定。	教)生涯学 習推進課	
145	林間学校		○		自然とのふれあいを通して心身の健全な成長を 図る。自己の力を試すことで自発性を育てる。年 齢の異なる仲間との集団生活を通して社会性を 養う。主に2泊3日・3泊4日で社会教育施設等 で実施。	小学生 1,788人(定 員)	③小学校長会の後選により全対象者に募集パン フレットを配布。 ④夏休み・春休み期間中に実施。 ⑤参加者に実施記録リーフレットを送付。		教)生涯学 習推進課	
146	アタックキャン プ		○		多感な成長時期に自然の中に身を置き直接体 験を通して感性を育て、自然を理解し自らの探 究心、冒険心を育て、さらに、精神力と忍耐力 を養う。夏2泊3日・春1泊2日で社会教育施設 で実施。	中学生 60人(定員)	③中学校長会の後選により全対象者に募集パン フレットを配布。 ④夏休み・春休み期間中に実施。 ⑤参加者に感想等について実施後アンケートを 実施。	夏季のみ実施する事業はh6年 度から。 H17年度より冬季事業も開催。 H21年度より夏季・冬季を同じ 参加者で実施	教)生涯学 習推進課	
147	家庭読書本のリサ イクル交換市		○		市民の方から、不要になった児童書を中心とし た家庭で読書するための本を提供していただき、 無償で提供するリサイクル交換市を開催。 【日時】平成21年10月4日(日)、午前10時~ 午後3時【会場】札幌市生涯学習総合セン ター(ちえりあ)1階ロビー	対象は市民全体。漢 字・清田・本通高校の 生徒にボランティア アとして協力して もらった。 市内小中学生の代 表12名、観覧の一般 市民50名程度。	③広報さつぽろや学校を通してのちらし配付 ④発達段階に応じた本を整理し、子どもの目 線でも本を選びやすい展示をした。 「幼児コーナー」「小学生コーナー」「中学・高 校生」「一般コーナー」を設置		教)指導担 当	
148	「札幌市・平和こ どもつどい」の開催		○		児童生徒に平和な世界を目指す意志をばくく とどみに、平和都市札幌の担い手となる資質 の基礎を培う。	小中高等学校すべ ての児童生徒を対象 とした。	③ボスターを全小中高校に配布。		教)指導担 当	
149	「いじめに関する意 識調査」		○		記名式による「いじめに関する意識調査」を 実施し、児童生徒の実態をより的確に把握す るとともに、いじめの問題を早期に発見し、 早期に対応することで、いじめの解消に努 める。		③欠席者へは家庭訪問するなど、すべての子 に実施するよう配慮した。 ④児童生徒が安心して記入できるよう、協 力のお願い文書を保険者に配布し、家庭で 行うこととし、調査用紙は、配付した封筒 に入れ、封をして提出するようにした。 ⑤調査結果を集計し、HPで公表するととも に、各学校にも概要版を配布した。		教)指導担 当	
150	第二次子ども読 書活動推進計画策 定		○	○	第二次子ども読書活動推進計画策定にあ たり、子どもの声を反映するため、アン ケート調査および市民会議(子ども つどい)を行った。	アンケートは小4~高 3まで5300人 市民会議は小4~高 1まで25人。	③市民会議メンバー募集にあたっては、学 校を通じてちらしを配布。 ④市民会議では、読書にまつわる体験 をもった上で意見をまとめた。 ⑤市民会議の経過と結果について図書 館ホームページで公開。		教)調整担 当課	
151	一日図書体験		○		図書館についての学習を通して、通常利 用するだけでは身につかない知識を持 つてもらうことで、同書という職務 に親しんでもらう。図書館利用の促 進につなげる。中央図書館において 実施し、平成20年度は7回実施した。	小・中・高校生を対象 に、平成20年度は66 人が参加をした。	③非常に人気の高い行事なので、抽選 により参加者を決定している。 ⑤実施後のアンケートを行っている。		教)業務課	

◆参考資料:各局区における事例(子ども参加の事例)

No.	事業名	事業等参加			市政への意見			子ども参加の内容		備考	担当部・課	
		企画や運営	準備・当日手伝い	参加者・発案者	参加者による評価	アンケート等	意見募集・意見箱	その他	①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等			②主な対象及び参加人数
152	童話を絵に描く会		○	○				①取組の趣旨・目的・参加の内容・実施日・期間・場所等 読み聞かせを聞いて心に浮かんだイメージを絵に描いてもらうことにより、物語への興味を深め、読書への関心を高めよう。	小学生を対象に開催し、平成20年度は12人の参加者があった。	③参加者の募集における工夫 ④実施における工夫(テーマ、開催時期、説明資料、その他) ⑤実施後のフォロー(実施結果の送付、実施後アンケート ほか) ⑥その他 ⑤実施後のアンケートを行っている。		教)業務課
153	講場見学			○				議会に対する理解を深めるため、講場(傍聴席)で議会の仕組みや役割について説明している。(要予約・随時開催)	特に指定はない。20年度:小中学生22回 延べ1,069人、21年度:小中学生19回 1,054人(11月時点)。	③ホームページ、議会だよりに掲載。19～20年度は市内の小中学校へ案内文書を送付。 ④屋上見学とセットで行うことが多い。対象者(小学生、中学・高校生、一般)にあわせて、説明シナリオを作成している。 ⑤参加した児童・生徒の反応や授業に役立ったかなどを、引率した教師にアンケートを実施した。(21年2月実施)		議)政策調査課

参考資料：各同区における事例(その他の事例)

事業名	事業の概要	特記事項	備考	担当課
1 子ども専用相談フリーダイヤルの整備	子どもからの電話相談について、フリーダイヤルを導入している。			子どもの権利 教済事務局
2 環境教育へのクリック募金	クリック募金協力企業からの寄付により、市内小中学校へ環境教材を提供する。	HP上に公開されたクリック募金協力企業のパンナーを閲覧者がクリックすると、1クリックにつき5円(月上限2万円)がその企業から札幌市に寄付されるシステム。寄付により受けた原資を元に、札幌市内の小中学校に環境教育に関する教材を提出する。 市内小中学校(平成21年度は29校に寄贈) 環境教育教材を使用してどのような教育を行うのか、計画書を学校から提出してもらう。 環境教育の実施後、学校から報告書の提出を受けるほか、HP等で公開する。		環境 環境計画課
3 緑のカーテン	室内の気温上昇を抑え、ヒートアイランド現象の緩和、そして環境教育や食育にも効果があるといわれている「緑のカーテン」に先導的に取り組み、民有地への普及活動を行うもの。	陽ざしにより部屋が暑くなるのを防ぎ、子どもたちが過ごしやすいことと、環境教育・食育・緑化による潤いの創出を目的に実施した。 子育て支援センター「ちあひる」にし、 キョウリなど食育に役立つものも使用した。 実施期間中は、職員による巡回を数回行い、実施状況を随時確認した。 平成22年度も数カ所実施する予定。		環境 みどりの推進課
4 「子どもの権利に関する教育研究協議会」における、子どもの権利に関する公開授業の開催	平成21年度札幌市研究開発事業「子どもの権利に関する教育研究協議会」における「授業実践・教科等グループ」による、子どもの権利に関する公開授業を実施し、市内の学校関係者等に参観いただくことにより、各幼稚園・学校において、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための条例」の趣旨を踏まえた教育実践が行われるなど、子どもの権利の理念を生かした教育の普及・啓発を図った。	公開授業1 授業実施校：市立伏見中学校 実施日時：平成21年12月9日(水)6校時(14時45分から) 授業・学級：3年4組 道徳 公開授業2 授業実施校：市立元町北小学校 実施日時：平成21年12月17日(木)2校時(9時35分から) 授業・学級：1年4組 道徳 子どもは授業を受けられる立場で参加する。		教 指導担当